

No.	所属	実施日	活動の代表者	活動の種別	活動・事業の名称	活動地域	連携自治体、団体等	連携概要	参加人数 (全体)	参加人数 (城西生)	この事業で想定される学び、成果	得られた学び、成果	良かった点	課題、改善点
1	経済学部	2024/4/1～ 2025/3/31	神崎直美	委員の委嘱、会議への参加;	相模原市文化財保護審議会委員 大和市文化財保護審議会委員	相模原市 大和市	相模原市 大和市	各地域の文化財保護に関する会議出席、文化資源の活用に関する審議など		0	地域の文化財の活用、未来への継承			
2	経済学部	2024/8/1～ 2026/8/25	鈴木雅勝	委員の委嘱、会議への参加;	坂戸市役所政策企画課 事務事業外部評価委員会	坂戸市		本件は、坂戸市役所の政策遂行を円滑に行うための外部評価委員会である。委員会のメンバーは、委員長1名（鈴木）、市民からの公募、学識経験者4名の計5名で構成されている。作業手順としては、以下の通りである。まず、各課の政策から最重要と思われる政策案件4件を抽出する。次に、政策案件の問題点を指摘する。第三に、各課の政策遂行担当者と改善に向けた協議を行う。第四に、評価報告書を作成する。最後に、市長に対し答申を行う。	10	0	坂戸市の政策案件をより健全に効率よく遂行すること。	各課の縦・横の繋がりを明確化する必要があることが分かった。	政策の不透明な部分が明らかとなった。	市民に対し、十分に周知できていない面がある。予算の問題から政策案件の遂行に年単位の時間が掛かる。
3	経済学部 神崎直美 ゼミⅠ ゼミⅡ	2024/11/29～ 2024/12/9	ゼミ担当 神崎直美	授業(地域の学習・研究);	ゼミナールの現地見学	ゼミⅠ 埼玉県日高市 ゼミⅡ 埼玉県坂戸市・日高市		ゼミⅠ 11月29日(金) 高麗神社・聖天院の現地見学 ゼミⅡ 12月9日(月) 旧・多和目村見学―多和目天神・石造物・醫遊王国―	14	14	ゼミⅠ 大学近郊の著名な史跡を知る ゼミⅡ 大学近隣に残る江戸時代の様子を確認する・日本ならではの食文化を学ぶ	ゼミⅠ 現地を訪れたからこそ知りえた事実・史実より、フィールドワークの大切さを体験する。ゼミⅡ 令和の現在に実は江戸時代の文化と共存していることを実感する。	事前学習の充実が、現地で生きた学び・体験となったこと。	季節については厳寒の時期はさげたい。
4	経済学部	2025/3/5	神崎直美	授業(地域の学習・研究);	出張授業	埼玉県飯能市	聖望高等学校	聖望高校に出張講義の予定 講義名「体験！江戸の文化」 昨年に続き、今年度も依頼を受けたので出張講義予定 江戸時代の書籍・刷物・錦絵などの原物を持参し、生徒さんに実物を回覧・展示して、江戸時代の文化に親しんでいただくことが目的である。		未定	当時の原物の書籍・刷物・錦絵を実際に手に取り、眺めることによる感動。	江戸時代の文化に対するより深い興味・関心が得られると思う。		
5	現代政策学部 Happy-lucky-café	2019/4/1～ 2024/12/31	柳澤智美	小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動研究;	Happy - lucky - café	城山地域	城山公民館	小学生の放課後の居場所づくり	250	25	地域の小学生の現状を学ぶ			
6	現代政策学部	2023/9/29～ 2023/12/24	奈良澤由美	授業(地域から外部講師を招聘);授業(学外で調査・活動);授業(地域の学習・研究);	全学部対象授業「地域と大学」	埼玉県	坂戸市役所、日高市役所	地域の文化財と文化政策について、施設担当者の講義、見学会とグループワークを通して考える授業「地域と大学」において、2023年度は日高市および坂戸市の文化保護担当者をゲストとして招き、最終的にグループワークで課題と対策を考え、発表会を行った。	233	228	地域の文化政策についての課題を考える			
7	現代政策学部 土屋政策ゼミナール	2024/4/1～ 2026/3/31	土屋正臣	授業(地域から外部講師を招聘);授業(学外で調査・活動);授業(地域の学習・研究);委員の委嘱、会議への参加;公開講座等、地域へ向けた講座;	東秩父村における文化財保存活用地域計画案作成	東秩父村	東秩父村	文化財保護法に規定される「文化財保存活用地域計画」案づくりに おいて、東秩父村と連携し、現地での調査を実施している。		20名	文化財の保存と活用による地域づくりの実践を学ぶことができる。	伝統工芸としての細川紙の担い手の減少と将来の地域づくりについて議論することができた。	継続して実施する調査の方向性がある程度具体化することができた。	調査の伝手を開拓することがこれからの課題である。
8	現代政策学部	2024/4/1～ 2025/1/31	柳澤・酒井	授業(地域から外部講師を招聘);	現代政策学部 ボランティア	埼玉県坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、小川町、越生町、毛呂山町、東松山市、川越市	市町村、社協、NPO団体	単位認定型のボランティアとして、学生と地域をつなぐ中間支援的な立場をとりつつ地域との連携も行っている。学生のボランティア先への挨拶や当日の参加状況の確認なども担当教員が行っている。		67	学生の自発的活動能力の向上	学生の自発的活動能力の向上	多くの学生が興味をもって地域に関心を持った	もっと多くの学生に参加して欲しい
9	現代政策学部 柳澤智美	2024/4/1	柳澤智美	委員の委嘱、会議への参加;	埼玉県共助社会づくり推進委員会委員長	埼玉県	埼玉県	NPOや社会活動の支援		0				
10	現代政策学部	2024/4/1	柳澤智美	委員の委嘱、会議への参加;	坂戸市市民参加推進会議 委員長	坂戸市	坂戸市	市民参加		0				
11	現代政策学部	2024/4/1	柳澤智美	委員の委嘱、会議への参加;	鶴ヶ島市市民推進会議推進委員会委員	鶴ヶ島市	鶴ヶ島市	市民参加推進		0				
12	現代政策学部	2024/4/1	柳澤智美	クラブ・サークル等の活動;	Happy - lucky - café	城山		小学生の放課後の居場所づくり	250	30				
13	現代政策学部	2024/4/1	柳澤智美	クラブ・サークル等の活動;	アーツインエディケーション	坂戸・鶴ヶ島	坂戸・鶴ヶ島	MOA美術館主催の全国児童絵画展	300	30				
14	現代政策学部 庭田ソフォモアセミナーA・B	2024/4/17～ 2025/1/8	庭田文近	授業(学外で調査・活動);授業(地域の学習・研究);	観光・地域プロモーション活動	坂戸市、毛呂山町、越生町、埼玉県		城西大学周辺地域（坂戸市・鶴ヶ島市・日高市・毛呂山町・越生町など）ないしは埼玉県内の観光まちづくりのために、当該地域の理解を深めるための実地調査を行うとともに、その魅力をアピールする地域プロモーション作品として、ポスター、動画、埼玉すごろくの制作を行った。	14		https://junavi.josai.ac.jp/camweb/slbssbdr.do?value(risyunen)=2024&value(semekikn)=1&value(kougid)=00000281&value(crclumcd)=zz19999999			
15	現代政策学部 庭田ゼミナールⅠ・Ⅱ	2024/4/17～ 2025/1/8	庭田文近	授業(学外で調査・活動);授業(地域の学習・研究);	地域活性化政策～観光・交通まちづくりの研究と実践	坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町		坂戸市および越生線沿線地域の活性化を目的に、学生が主体となって地域活性化プロジェクトを立ち上げている。2024年度は、TikTokを活用した坂戸市の魅力の発信（2023年度から継続）、Instagramを活用した坂戸市の魅力の発信、越生線沿線のプロモーション動画の制作を行った。	22		https://junavi.josai.ac.jp/camweb/slbssbdr.do?value(risyunen)=2024&value(semekikn)=1&value(kougid)=00003511&value(crclumcd)=zz19999999			
16	現代政策学部	2024/6/1	柳澤智美	委員の委嘱、会議への参加;	埼玉県公園緑地協会際桐県公園緑地協会評議員	埼玉県	埼玉県緑地協会	評議員		0				
17	現代政策学部 地域活性化論（現代政策学部専門科目）	2024/6/5～ 2024/6/26	庭田文近	授業(地域から外部講師を招聘);	財務省関東財務局との連携授業	埼玉県	財務省関東財務局、株式会社デリモ、あなたの幸せが私の幸せホールディングス、株式会社コマーム	財務省関東財務局が主催するさいたま活性化サロンに集う埼玉県内の3つの事業者を、それぞれ外部講師として招き、各事業者が行っている地域活動について3回にわたって講演してもらうとともに、採用情報も紹介してもらった。		35	これからまちづくりを行おうとしている学生が、その方法・意義・課題を知る。また、埼玉県内の就職情報を知る機会を得る。	秋学期に行ったまちづくりに反映された。また、1名の学生が、参加事業者に就職した。		
18	現代政策学部	2024/7/1～ 2026/6/30	塚越健司	委員の委嘱、会議への参加;	【鶴ヶ島市健康長寿課】健康づくり推進協議会	鶴ヶ島市	鶴ヶ島市	健康づくりを総合的に推進するため、「鶴ヶ島市健康づくり推進協議会」を設置。 市民の健康増進及び食育推進に関する施策の調査・審議、本市健康づくり計画・食育推進計画の進行管理及び策定に係る審議を行う	これから	0	長寿に関する議論から、健康について深く学ぶ（予定）	長寿に関する議論から、健康について深く学ぶ（予定）	これから実施する	
19	現代政策学部	2024/7/1	柳澤智美	産学官連携、産学連携、官学連携;	ここから武蔵コンソーシアム	埼玉県	ここから武蔵コンソーシアム	ボランティア活動の支援を受ける	250	25				
20	現代政策学部 NPO論	2024/7/2	柳澤智美	授業(地域から外部講師を招聘);	NPO論	埼玉県	埼玉県庁	埼玉県庁の職員から実際に非営利組織団体との付き合い方や支援の活動内容を学ぶ。	108	108	県庁と非営利組織の関係を学ぶ。			
21	現代政策学部 コミュニティ・ビジネス論	2024/10/1～ 2025/2/16	柳澤智美	授業(学外で調査・活動);授業(地域から外部講師を招聘);	コミュニティ・ビジネス論	埼玉県	ひだかん2024	ひだかんソーシャルビジネスコンテストに参加するために、事前に審査対象になるビジネスについての説明を受ける。またビジネスコンテストに出る取組の選定。コミュニティビジネス論においてチームをつくり、ソーシャルビジネスを検討。その後、実際に審査に挑める取組を数チーム選択して当日のコンテストで発表をしてもらう。その際、学生の取り組みにもっとも合う、企業先を紹介してもらいサポーターとして教えを受けたのち、当日のコンテストにおいて発表をしている。	100	10	ビジネスとして自分たちの考えた案が通用するかどうか、多くの企業の目から審査を受ける。			
22	現代政策学部 地域イノベーション（現代政策学部専門科目）	2024/10/2～ 2025/1/8	庭田文近	授業(学外で調査・活動);	西坂戸の活性化活動	坂戸市		西坂戸地区において、賑わいを創生するまちづくりプロジェクトを学生主体で企画・準備および実施した。2024年度は、①商店街各店舗のポスター制作、②喫茶店とコラボしたドッグカフェの開催、③ご当地ソングの作詞・作曲・PV制作、④本学ロータークラブとのコラボによる小学生対象のポツチャ大会の開催、⑤公園の草刈り・清掃活動の5つのプロジェクトを実施した。	22		https://junavi.josai.ac.jp/camweb/slbssbdr.do?value(risyunen)=2024&value(semekikn)=1&value(kougid)=00457501&value(crclumcd)=zz19999999			
23	現代政策学部 コミュニティビジネス論	2024/11/11	柳澤智美	授業(地域から外部講師を招聘);	コミュニティビジネス論	埼玉県	株式会社地域デザインラボさいたま	株式会社地域デザインラボさいたまから、地域をデザインすること、活動内容を学ぶ		87	地域をデザインするとは何か、仕事として活動するということを学ぶ			
24	現代政策学部 コミュニティ・ビジネ	2024/11/19	柳澤智美	授業(地域から外部講師を招聘);	コミュニティ・ビジネス論	埼玉県	政策金融公庫	政策金融公庫から講師を招いて、非営利組織への融資やその他の支援を学ぶ。	89	89	非営利組織への支援体制を学ぶ			
25	現代政策学部	2025/2/16	柳澤智美	委員の委嘱、会議への参加;	ひだかん実行委員会ソーシャルひだかんファレンス2024	日高市	ソーシャルひだかんファレンス	ビジネスコンテスト	50	2				
26	経営学部 石井龍太ゼミナール	2024/5/5	石井龍太	::授業(学外で調査・活動);授業(地域の学習・研究);:::	「狩俣子供会」	沖縄県		地域の祭事にてヒーローショーを実施した。	0	2	地域活性化に関わる活動を通じ、地域への理解を深め結びつきを強める。	上記の学びを達成した。		
27	経営学部	2024/5/24	ミハイル・マリノフ	授業(地域から外部講師を招聘);	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）	埼玉県		世の中がどんどん人手不足になり、製造業、物流業、小売業などあらゆる業種で会社の経営が「省人化」がキーワードになってきています。これからの人手不足に対して、企業（特に製造業）が協働ロボットを活用していく必要性について講演を行いました。		0				

No.	所属	実施日	活動の代表者	活動の種別	活動・事業の名称	活動地域	連携自治体、団体等	連携概要	参加人数 (全体)	参加人数 (城西生)	この事業で想定される学び、成果	得られた学び、成果	良かった点	課題、改善点
28	経営学部 三國ゼミナール	2024/6/14～2025/3/7	三國信夫	授業(地域の学習・研究);授業(学外で調査・活動);小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動;	中山間「ふるさと支援隊」	東秩父村	東秩父村、埼玉県農業ビジネス支援課	本活動は、埼玉県東秩父村における経営学部3年生ゼミの「ふるさと支援隊」としての活動であった。消滅可能性自治体に指定された東秩父村を舞台に、学生は村の課題や魅力を自ら探り、紙媒体「東秩父村通信」やInstagram等を活用して情報発信を行った。高麗祭では展示や模擬店も行い、地域と連携した多様な活動に取り組んだ。東京都杉並区和田中学校においても、東秩父村の魅力の紹介や地域活動全般について授業を実施した。浅草では訪日外国人を対象に、東秩父村のPR活動も実施した。地域連携協定や卒業生の存在も活動を後押しし、学生の協働力を育む実践的な学びの場となった。	200人	23人	多様な人との関わりの中で、協力関係を作りながら、新しい価値あるものを創造すること（協働力）。	東秩父村通信を4号発行することができた。和田中学校でのイベントを開催することができた。さまざまな活動を通して、多様な人との出会いがあり、学生が大きな刺激を受けた。	学生が主体となって、活動が進められたこと。	ゼミ生の中に、現場に何度も足を運び地域の人も関係を取り結ぼうとする積極性のある学生と、そこまでは至らない学生との差が出てしまったこと。
29	経営学部 石井龍太ゼミナール	2024/6/15	石井龍太	.;授業(学外で調査・活動);授業(地域の学習・研究) ;;;;	「栄町児童館ヒーローズステージ」※『閃耀ロクロギア』『大学戦士トードイン』とコラボイベント。	坂戸市		地域の祭事にてヒーローショーを実施した。	0	1	地域活性化に関わる活動を通じ、地域への理解を深め結びつきを強める。	上記の学びを達成した。		
30	経営学部 石井龍太ゼミナール	2024/6/23	石井龍太	.;授業(学外で調査・活動);授業(地域の学習・研究) ;;;;	「昭和99年レトロ祭」	坂戸市		地域の祭事にてヒーローショーを実施した。	0	1	地域活性化に関わる活動を通じ、地域への理解を深め結びつきを強める。	上記の学びを達成した。		
31	経営学部 石倉ゼミナールⅠ・Ⅱ	2024/7/7	石倉恵介	公開講座等、地域へ向けた講座;	北坂戸にぎわいサロン10周年記念事業「ロコモ予防運動」	坂戸市		活動概要 【日時】2024年7月7日（日） 【場所】北坂戸にぎわいサロン 【内容】ロコモ度調査とロコモ予防トレーニングの実施 【具体的内容】 i). ロコモティブシンドロームの認知度等についてのアンケートの実施 ii). ロコモ度テストの実施 ① 立ち上がりテスト、② 2ステップテスト、③ ロコモ25 iii). ロコモ度のフィードバック iv). ロコモ予防トレーニング ① 片脚立ち、② スクワット 【イベント参加者】31名	31	5	日本の健康課題の一端をゼミ生が実際に調査を実施することで、課題を肌身で感じとってもらい、また世代を超えた人々と交流すること	ゼミ生自身が日本の健康課題の一端を肌身で感じとってもらえ、将来への危機感も持ってもらえたと考えられた。また、高齢者の方へデストを説明するものの、参加者がなかなか理解をしてもらえなかったり、参加者が集中する時間帯では人が滞ったりして、説明の工夫や運営を臨機応変に対応することの重要性の気づきがあったようである。更に、積極的に参加してくれた参加者がいたことでやりがいを感じたり、参加者のロコモティブシンドローム予防や健康寿命延伸への貢献を自認したりして、セルフエフィカシーの向上に役立ったと推察された。	地域の方や学生双方からポジティブなコメントがあった	単年度の事業であり、学生は毎年入れ替わるので、継続した事業でこのような取組を実施したい
32	経営学部 石井龍太ゼミナール	2024/7/13	石井龍太	.;授業(学外で調査・活動);授業(地域の学習・研究) ;;;;	「坂戸セタまつり」	坂戸市		地域の祭事にてヒーローショーを実施した。	0	1	地域活性化に関わる活動を通じ、地域への理解を深め結びつきを強める。	上記の学びを達成した。		
33	経営学部 石井龍太ゼミナール	2024/7/27	石井龍太	.;授業(学外で調査・活動);授業(地域の学習・研究) ;;;;	「北坂戸イーストフェス」	坂戸市		地域の祭事にてヒーローショーを実施した。	0	1	地域活性化に関わる活動を通じ、地域への理解を深め結びつきを強める。	上記の学びを達成した。		
34	経営学部 石井龍太ゼミナール	2024/8/11	石井龍太	.;授業(学外で調査・活動);授業(地域の学習・研究) ;;;;	「狩俣子供会」	沖縄県		地域の祭事にてヒーローイベントを実施した。	0	1	地域活性化に関わる活動を通じ、地域への理解を深め結びつきを強める。	上記の学びを達成した。		
35	経営学部 石井龍太ゼミナール	2024/9/28	石井龍太	.;授業(学外で調査・活動);授業(地域の学習・研究) ;;;;	「光山小学校式典」※ジョーカー、フウラ、ミリオクの式典出場	毛呂山町		小学校の祭事にてヒーローイベントを実施した。	0	9	地域活性化に関わる活動を通じ、地域への理解を深め結びつきを強める。	上記の学びを達成した。		
36	経営学部 、理学部他	2024/10/11	石倉恵介	鳩山町長講演会;	鳩山町長講演会	鳩山町		鳩山町の小川知也町長の講演会を実施した。講演演題、「首長を志す―大学の教育を通じて―」であった。230名を超える学生が参加し、学生から活発な質問があった。		230				
37	経営学部 石井龍太ゼミナール	2024/10/19	石井龍太	.;授業(学外で調査・活動);授業(地域の学習・研究) ;;;;	「西坂戸ハロウィン」	坂戸市		地域の祭事にてヒーローイベントを実施した。	0	9	地域活性化に関わる活動を通じ、地域への理解を深め結びつきを強める。	上記の学びを達成した。		
38	経営学部 石井龍太ゼミナール	2024/10/20	石井龍太	.;授業(学外で調査・活動);授業(地域の学習・研究) ;;;;	「第1回城山地域交流センター文化祭」	坂戸市		地域の祭事にてヒーローショーを実施した。	0	9	地域活性化に関わる活動を通じ、地域への理解を深め結びつきを強める。	上記の学びを達成した。		
39	経営学部 石井龍太ゼミナール	2024/11/10	石井龍太	.;授業(学外で調査・活動);授業(地域の学習・研究) ;;;;	「第2回坂戸のまつり」※クロウリー、パチライザー、モンブラン司祭、閃耀ロクロギアとのコラボショー	坂戸市		地域の祭事にてヒーローショーを実施した。	0	9	地域活性化に関わる活動を通じ、地域への理解を深め結びつきを強める。	上記の学びを達成した。		
40	経営学部 石井龍太ゼミナール	2024/11/16	石井龍太	.;授業(学外で調査・活動);授業(地域の学習・研究) ;;;;	「毛呂山産業まつり」	毛呂山町		地域の祭事にてヒーローショーを実施した。	0	9	地域活性化に関わる活動を通じ、地域への理解を深め結びつきを強める。	上記の学びを達成した。		
41	経営学部 石井龍太ゼミナール	2024/12/8	石井龍太	.;授業(学外で調査・活動);授業(地域の学習・研究) ;;;;	「アメイジング商店街V9」※武蔵大学『閃耀ロクロギア』とのコラボショー	東京都		チャリティイベントにてヒーローショーを実施した。	0	9	地域活性化に関わる活動を通じ、地域への理解を深め結びつきを強める。	上記の学びを達成した。		
42	経営学部 石井龍太ゼミナール	2024/12/24	石井龍太	.;授業(学外で調査・活動);授業(地域の学習・研究) ;;;;	「坂戸児童センタークリスマス会」	坂戸市		祭事にてヒーローショーを実施した。	0	9	地域活性化に関わる活動を通じ、地域への理解を深め結びつきを強める。	上記の学びを達成した。		
43	経営学部 石井龍太ゼミナール	2024/12/1	石井龍太	.;授業(学外で調査・活動);授業(地域の学習・研究) ;;;;	「坂戸イルミネーション点灯式」	坂戸市		地域の祭事にてヒーローショーを実施した。	0	9	地域活性化に関わる活動を通じ、地域への理解を深め結びつきを強める。	上記の学びを達成した。		
44	理学部化学科 環境生命化学研究室	2024/4/1～2025/3/31	石黒直哉	産学官連携、産学連携、官学連携;	郷土愛を育む小・中学校の環境教育に利用可能な環境DNA検出技術の確立	福井県越前市	福井県越前市	福井県越前市に生息する希少種の生息地調査を、小・中学校の環境教育として行うために、モバイル型のリアルタイムPCR装置を用いた簡便迅速な環境DNA検出技術の確立を目指している。本年度はアベサンショウウオ（絶滅危惧種ⅠA類）を対象とし、最適な抽出・精製方法を模索した。		0				
45	理学部化学科 環境生命化学研究室	2024/4/1～2025/3/31	石黒直哉	研究;産学官連携、産学連携、官学連携;	希少野生生物分布調査にかかる環境DNA分析	茨城県	茨城県	ツクバハコネサンショウウオ（絶滅危惧種ⅠA類）は筑波山地のみに生息している。本種の踏査調査は困難であるため、環境DNA分析がその補完となり得るように、茨城県からの委託研究として行っている。しかし、本種の微量のDNAを下流域で捕集するには困難を伴っている。本年度は、現場濾過法も行い、比較した。		3				
46	理学部化学科 環境生命化学研究室	2024/4/1～2025/3/31	石黒直哉	研究;産学官連携、産学連携、官学連携;	卒業研究	東秩父村	東秩父村	昨年に本学と相互連携に関する基本協定を締結した東秩父村の魚類相調査を行った。生息環境を破壊せず複数の生物種の検出を同時に行うことのできる環境DNAメタバーコーディング手法を用いた。		1				
47	理学部化学科 環境生命化学研究室	2024/4/1～2025/3/31	石黒直哉	産学官連携、産学連携、官学連携;委員の委嘱、会議への参加;	ここから武蔵コンソーシアム	埼玉県	ここから武蔵コンソーシアム	宇宙・産学官・地域連携コンソーシアムは、近隣の自治体、大学および企業等が連携し、地域が抱える様々な課題に対する解決策を協議・実現する活動を支援することにより、地域の振興と発展に貢献することを目的としている。このため、会員間で課題を共有し、有志会員で構成するチームが課題解決のためのプロジェクトを形成し、実施することとし、このような活動成果および情報共有の場として、適宜、地域連携ワークショップを開催している。	30	0				
48	理学部化学科 環境生命化学研究室	2024/5/1～2025/2/20	石黒直哉	産学官連携、産学連携、官学連携;研究;	武州・入間川プロジェクト	坂戸市、日高市、毛呂山町	国土交通省関東地方整備局、荒川上流河川事務所、武州ガス株式会社、埼玉県生態系保護協会	これまでの研究で、埼玉県のレッドデータブックにおいて絶滅危惧種ⅠA類に指定されているホトケドジョウの生息地が明らかになりつつある。昨年度に引き続き大学周辺の貴重な生息地を対象に採水時期による検出感度の比較を行った。		3				
49	理学部化学科	2024/5/17～2025/3/31	宇和田貴之	委員の委嘱、会議への参加;	毛呂山町学校運営協議会 委員	毛呂山町	毛呂山町	学校運営協議会の委員として川角中学校区の川角中学校、川角小学校、光山小学校の学校運営方針をヒアリングしアドバイスする。	20	0	特に無し	特に無し	特に無し	特に無し
50	理学部化学科	2024/9/18～2024/10/8	宇和田貴之、新木光明、富田真也	小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動;	川越市小・中・大学連携理科ふれあい事業	川越市	川越市	川越市内の小・中学校へ講師として川越市近隣大学の教員および学生を招いて理科に関する出前授業を行う。	合計200人程度	10人程度	小・中学生への理科教育	小・中学生への理科教育	小・中学生への理科教育	特に無し

No.	所属	実施日	活動の代表者	活動の種別	活動・事業の名称	活動地域	連携自治体、団体等	連携概要	参加人数 (全体)	参加人数 (城西生)	この事業で想定される学び、成果	得られた学び、成果	良かった点	課題、改善点	
51	理学部化学科 環境生命化学研究室	2025/3/7	石黒直哉	産学官連携、産学連携、官学連携、公開講座等、地域へ向けた講座;	環境DNA分析による希少野生生物のモニタリング研修	福井県越前市	福井県越前市、越前市コウノトリが舞う里づくり推進協議会、水辺と生き物を守る農家と市民の会	越前市白山地区で地域住民と共に長年に亘って行って来た環境DNAを用いたモニタリングに関する勉強会である。本年度は、茨城県からの受託研究であるツクバハコネサンショウウオの環境DNA分析について現状を報告し、アベサンショウウオ保全に対してどう活かして行くか議論した。	15	0					
52	薬学部薬学科 YYコミュニケーション体験演習（必修4年）	2024/4/9～2025/2/7	井上裕	授業(地域の学習・研究);	薬と健康の週間(埼玉県薬剤師会との連携)	埼玉県	埼玉県薬剤師会	薬学科（6年制課程）は、10月20日、川口 樹モールにて、埼玉県薬剤師会主催の薬と健康の週間に参画しました。埼玉県薬剤師会の方々と川越駅前にて薬物乱用防止の駅頭キャンペーンも行いました。今年度は、学生の企画立案による薬物乱用防止の冊子や動画（動画は埼玉県薬剤師会のHPに掲載された）を作成した。	50以上	15	薬と健康の週間への参加により、薬と健康の週間の特色を、薬剤師会、業務課やその他組織の方々と協働活動にて実践し、他者への配慮のみならず、自己意識の再確認・改善を振り返る。そして企画、運営に携わり、多様な考え方を理解したうえで、地域社会に貢献できるようにする。	なお、学生の感想として、・薬と健康について興味を持ってもらうための工夫は難しかった。・子供には目線を合わせて声を少し高め、高齢者にはゆっくり大きな声で話すように意識した・自ら積極的に声をかけることで、気づき、関わり、繋ぎ、見守りに繋げていきたいと思った などの学びを得た。	今日の活動を通して、全体で協力し一つのプロジェクトを完成させる大切さを知れた。今回のプロジェクトで学んだ協調性で地域社会に貢献できた		
53	薬学部薬学科	2024/9/17	宮本嘉明	.;授業(学外で調査・活動);.;小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動;;	出張！おくすり実験教室 薬物乱用防止教室	入間郡毛呂山町	毛呂山町立光山小学校	本事業は、小学生を対象に、実薬を用いた簡単な実験による体験学習を通して、医薬品の適正かつ安全な使用を啓発する活動です。また、本活動は、薬学部薬学科4年生の必須科目「コミュニケーション体験演習」の一部として学生主体で実施し、地域社会への貢献を通してコミュニケーション能力を培い、社会で必要とされる能力を伸ばすことも目的のひとつとしている。なお、同時に違法薬物や嗜好品などの乱用の防止を啓発する活動も実施する。	57	15					
54	薬学部薬学科	2024/9/20	宮本嘉明	.;授業(学外で調査・活動);.;小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動;;	出張！おくすり実験教室	入間郡毛呂山町	毛呂山町立光山小学校	本事業は、小学生を対象に、実薬を用いた簡単な実験による体験学習を通して、医薬品の適正かつ安全な使用を啓発する活動です。また、本活動は、薬学部薬学科4年生の必須科目「コミュニケーション体験演習」の一部として学生主体で実施し、地域社会への貢献を通してコミュニケーション能力を培い、社会で必要とされる能力を伸ばすことも目的のひとつとしている。	36	15					
55	薬学部薬学科 彩の国連携力育成プロジェクト（SAIPE）	2024/11/29	村田 勇	授業(地域の学習・研究);	彩の国連携力育成プロジェクト「IPW演習（緩和医療学）」	埼玉県	埼玉県立大学、埼玉医科大学、城西大学、日本工業大学	模擬患者を活用し、「がん終末期の患者の、身体的・精神的苦痛を和らげるにはどうしたらいいか」「患者の家族のフォローはどうすればいいの」4大学から異なる分野（医学、理学療法、薬学、薬科学、医療栄養）の学生が城西大学に集まり、連携してよりよいケアプランを考える。	204	17	チーム形成、グループワークおよびマネジメントの模擬的実践を目的とし、演習を通じて緩和ケアに対する意識が高まるだけでなく、様々な学部と学生と議論を重ねることで、自分の専門領域の可能性がさらに広がることも期待できる。また、多職種連携教育の特徴を明らかにし、臨床の場に活かすことを目標としている。	複数の学科（医療系を中心とする）の学生が患者の気持ちを汲み取り、それぞれの患者の気持ちに即した議論できた。またその議論の要点を把握し発展することができた。	複数（4校）で構成されたチーム活動は、単独の大学（埼玉医大）で構成されたチーム活動より、学習効果が高いことを明らかにできた。	単独の大学で構成されるチームの学習効果を向上させること。	
56	薬学部薬学科	2024/12/13	宮本嘉明	;;;小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動;;;	薬物乱用防止教室	入間郡毛呂山町	毛呂山町立光山小学校	本事業は、小学生を対象に、違法薬物や嗜好品などの乱用の防止および医薬品の適正かつ安全な使用を啓発する活動です。	70	0					
57	薬学部薬学科	2025/2/8	堀井徳光	産学官連携、産学連携、官学連携;;;小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動;;;	現場で話して、感じて、学び取る！リアル薬剤師	埼玉県全域	埼玉県、埼玉県病院薬剤師会、埼玉県薬剤師会	薬剤師は、医薬品の安定供給の根幹を担うとともに、チーム医療において患者の薬物治療の安全性向上に貢献できる重要な役割を果たしている。しかしながら、「薬剤師需給推計」によれば、薬剤師の従事先には業態偏在および地域偏在が指摘されており、厚生労働省はこれら偏在の解消に向けた薬剤師確保の取り組みを進めている。一方、近年薬学部を志願する高校生が減少傾向にあり、この状況が長期に続けば将来的な薬剤師不足に直結する可能性もある。本事業の目的は、医療・薬学・薬剤師に興味のある高校生を対象に、高校生自身が医療機関で実務に従事する薬剤師と直接関わる機会を通して、薬剤師業務、薬剤師の社会的役割、医療における位置づけを考え、感じ、学び取り、このリアルな経験が高校生の薬剤師（薬学部）への強い興味・関心へとつながり、安定した薬剤師確保に貢献できるものと考えている。	29	1	本事業は、高校生自身が医療機関で実務に従事する薬剤師と直接関わる機会を通して、薬剤師業務、薬剤師の社会的役割、医療における位置づけを考え、感じ、学び取り、このリアルな経験が高校生の薬剤師（薬学部）への強い興味・関心へとつながり、安定した薬剤師確保に貢献できるものと考えている。	実施後の高校生アンケートでは、満足度が4.8（5点満点中）と高く、すべての高校生から自身の職業選択の参考になったとの回答が得られた。また、保護者からは現場を見学できる貴重な経験を通して、薬剤師になるためのイメージが湧いたとの声が聞かれた。本事業は、将来薬剤師（薬学）を志す可能性のある高校生およびその保護者に有益な機会を与える企画であったと考えられる。	高校生からの評価は5点満点中平均4.88と高く、実際に薬剤師が働く現場を見学できたこと、そこでいろいろな質問を通して薬剤師について詳しく知ることができたことが高い評価につながったと思われる。	薬剤師の魅力を伝えるにはイベント時間が短く、薬剤師が活躍する場をもう少し見学出来たり、もっと業務を体験できる時間を増やしたりすることが必要かもしれない。	
58	薬学部薬科学科 皮膚生理学研究室	2024/8/7～2024/8/27	高木 豊	公開講座等、地域へ向けた講座;	ちよだ女性セミナー「老いも若きもスキンケアで健康な肌を」	坂戸市	坂戸市	60代から80代の女性約20名に対して1年間に亘って催されるちよだ女性セミナーにおける複数回(2回)のスキンケアに関する講義	40	0	スキンケアの重要性の再確認				
59	薬学部医療栄養学科 東吾野自然環境調査チーム	2022/4/1～2025/3/31	真野 博	産学官連携、産学連携、官学連携;	飯能市たいら栗園とその周辺の自然環境調査	飯能市	たいら栗園	飯能市たいら栗園とその周辺の地質・地形、植物、昆虫、脊椎動物の調査を実施した		0					
60	薬学部医療栄養学科 彩の国連携力育成プロジェクト（SAIPE）	2024/4/1～2025/3/31	古屋牧子（SAIPE委員会）	公開講座等、地域へ向けた講座;	職能団体と4大学のIPWカフェ（全3回）	埼玉県	県内専門職（医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、等）	2018年度から県内職能団体の方々と埼玉県における「連携力の高い人材育成」を目指した意見交換会の職能団体からの意見として、多職種の現職者同士でミニレクチャーを交えた会話を、業種を越えてコミュニケーションを楽しむ会としている。気軽に参加できることをコンセプトにZoom等オンラインツールを用いた遠隔にて開催した。	76	0	様々な専門性を持つゲストスピーカーによるミニレクチャーにより、異なる分野についての学びを深めることができた。日常業務における困りごとなどについて、専門職同士が意見交換することができた。また、医療や福祉の現場について深く知ることができ、大学教職員にとって良い学びになった。	回を重ねることに気軽な交流ができるようになった。ゲストスピーカーの許可が得られた際に学生参加を積極的に促したこと、学生の参加が増えた。運営方法をシステム化したこと、実施回数を全6回から3～4回であることにより、運営負担が軽減している。	現在は大きな課題はなく、今後も継続実施予定である。今年度は全国からの参加者や学生の参加が増加した。次年度はさらに広報を充実させる。		
61	薬学部医療栄養学科 Smile Up Caffe	2024/4/1～2025/3/31	君羅 好史	クラブ・サークル等の活動;	Smile up caffe	埼玉県入間郡越生町		梅の里で知られる越生町の梅農家「山口農園」が、75年前に使用していた養蚕小屋をリノベーションし、2021年にオープンした“梅で人と人を繋ぐ”をコンセプトに掲げ、曜日ごとに店主が異なるシェアキッチン制を導入した梅カフェで、“料理を通じて、お客様へ笑顔と健康を！”をコンセプトに、食が好きな医療栄養学科有志学生によるワンデイカフェの企画・運営を1年に4回開催している。梅をはじめとする地場産物を活かしたメニューを考案すると共に、食材の栄養素や機能性を伝える食育媒体も作成。食事と食育の双方からお客様の健康に寄与することを目的に活動している。学生自身がメニューを考案・調理し、一般のお客様に提供するという一連の流れを通じて、栄養や食品、調理について実践的に学ぶ場となっている。	100	26	毎回テーマを考え、それに沿ったメニューの考案、試作・写真撮影、媒体作成・広報活動や当日のカフェ運営を通して、栄養バランスや季節・食材の組み合わせなどを考えたメニュー作成スキルの向上、仕入れや原価計算、価格設定を通じた経営知識の習得、チームワークやリーダーシップの向上、接客経験によるコミュニケーション力の強化、広報活動を通じた情報発信力の向上、運営中のトラブル対応を通じた問題解決力が向上、時間管理や計画力の重要性が学べる。	「想定される学び、成果」を得ることができた。	コンセプトや献立を何度も修正する中で、計画力や柔軟な対応力が身についた。お客様から直接意見を聞く機会があり、料理を褒められることで達成感を得た。コミュニケーション力が向上した。丁寧な盛り付けを心がけたことで、どのプレートも均一に仕上がり、品質を保つ大切さを学んだ。レシピ通りに調理してもうまくいかないことがあり、その場で改善を考えることで問題解決力が養われた。初めてレジを担当し、お金を扱う責任や会計の大変さを実感した。調理技術だけでなく、接客、計画力、チームワーク、問題解決力、会計管理など、多くの実践的なスキルを身につけることができた。	食数の調整が難しい。テーマ決めに苦労する。授業実施期間中の開催の場合、試作・準備日の調整が難しい。	
62	薬学部医療栄養学科 彩の国連携力育成プロジェクト（SAIPE）	2024/4/1～2025/3/31	古屋牧子（SAIPE委員会）	委員の委嘱、会議への参加;	大学間連携運営連絡会議（全8回）	埼玉県	埼玉県立大学、埼玉医科大学、城西大学、日本工業大学、埼玉県（保健医療政策課）	彩の国連携力育成プロジェクト事業に関しては、埼玉県立大学、埼玉医科大学、城西大学、日本工業大学および埼玉県が協定を結び、埼玉県の保健医療福祉専門職を中心とした連携力の育成を目指した取り組みである。この会議では概ね月に一度大学の教職員が一堂に会し、今後の事業や実習、演習等について意見を出し合い情報を共有している。今年度も2020年度より運用しているZoomを用いて、遠隔にて8回開催した。	237	0		年間8回という開催で大学間連携運営連絡会議をすることにより、様々な事業や実習等を円滑に運営することができた。また、各大学の状況等についてタイムリーに情報共有することができた。	オンラインでの実施ということで移動時間が無く、本学および各大学からの参加者が増え、忌憚のない話し合いができた。	オンライン開催であったが、特に問題はなかった。次年度は交流を深める目的で、対面での開催を数回取り入れることを検討している。	
63	薬学部医療栄養学科 Tokigawa Motion	2024/4/1～2025/3/29	真野博	産学官連携、産学連携、官学連携;	Tokigawa Motion	ときがわ町	ときがわ町保健センター	フレイル予防対策として運動とコラーゲンペプチドの摂取効果を検証	200	4					
64	薬学部医療栄養学科 北坂戸にぎわいサロン用レシビ	2024/4/1～2025/3/31	真野博	産学官連携、産学連携、官学連携;	北坂戸にぎわいサロン用レシビ	坂戸市	UR	住民に役立つレシビとコラムの執筆		6					

No.	所属	実施日	活動の代表者	活動の種別	活動・事業の名称	活動地域	連携自治体、団体等	連携概要	参加人数 (全体)	参加人数 (城西生)	この事業で想定される学び、成果	得られた学び、成果	良かった点	課題、改善点
65	薬学部医療栄養学科 パンプロジェクト	2024/5/2～ 2024/11/15	洲上 絢音	産学官連携、産学連携、官学連携;	薬学部医療栄養学科パンプロジェクト	所沢市、秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町、坂戸市	有限会社かんながら、埼玉県秩父地域振興センター	本取組は、埼玉県所沢市に本社を構え、食パン専門店「考えた人すごいわ」を展開する有限会社かんながらと、地域企業を支援する取り組みを行っている飯能信用金庫、城西大学薬学部医療栄養学科による産学連携の共同開発プロジェクトである。埼玉県産の食材を使用して、地域の活性化を担うためのパン開発をコンセプトに、商品の立案から販売までを学生が主体となって行っている。第2弾となる2024年度は、埼玉県秩父地方の食材をテーマにアイデアを考えた。本プロジェクトは有志の学生で構成されており、1年生18名、2年生15名が活動している。	300	33	異なる学年の学生との活動、企業の方と活動することでコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、衛生管理技術、献立作成技術の向上	上記の通り	学生が楽しんで活動している様子がみられた。現在所属している学生は1年次から継続して活動しており、HPや高麗祭での広告効果もあり、参加学生が増えている。	店舗での客数や売り上げの変化や、購入者に対する詳細なアンケート調査が実施できたらなおよかった。
66	薬学部医療栄養学科	2024/5/5～ 2024/5/6	深谷 睦	産学官連携、産学連携、官学連携;	アトレマルヒロ2024 アカデミーフェスティバル	川越市	アトレマルヒロ	川越市近隣の大学や専門学校が、日頃の勉強や研究内容を活かし、体験会等を行うイベントである「アトレマルヒロ アカデミーフェスティバル」に参加した。 2024年度は『お魚を食べよう!』をテーマに「お魚レシピ集」の配布や血管年齢測定（血圧・血管年齢、血流チェック、糖化ストレスチェック）・栄養相談会、城西大学医療栄養学科オリジナル「JOSA!コーラゲンようかん」の販売、医療栄養学科学生の考案した「まるでネギ!パン」販売（パンの販売は6日限定）を行った。	1120	22	普段の学びをアウトプットする機会となり、参加者（地域住民）の方々とたくさん交流をする機会となる。	栄養相談等を通じて、幅広い年齢層の対象者と実際に交流をはかれ、学生にとって今後の社会で役立つ貴重な経験となった。	イベント当日の対象者との交流はもちろんのこと、準備期間を通じて、学部生や大学院生の学年間での交流の場を提供できた。また、配布レシピの考案や測定会・栄養相談会など学びのアウトプットの機会となったこと。	開催2日目（5月6日）が、大学の授業実施日であったため、参加できる学生が大学院生のみと制限されてしまった。
67	薬学部医療栄養学科 彩の国連携力育成プロジェクト（SAIPE）	2024/5/30～ 2024/12/5	古屋牧子（SAIPE委員会）	委員の委嘱、会議への参加;	埼玉県における「連携力の高い人材育成」を目指した職能団体と4大学の第12回意見交換会、埼玉県における「連携力の高い人材育成」を目指した職能団体と4大学の第13回意見交換会	埼玉県	埼玉県立大学、埼玉医科大学、城西大学、日本工業大学、埼玉県医師会、埼玉県歯科医師会、埼玉県薬剤師会、埼玉県看護協会、埼玉県栄養士会、埼玉県介護支援専門員協会、埼玉県社会福祉士会、埼玉県公認心理師協会	2018年度から県内職能団体の方々と埼玉県における「連携力の高い人材育成」を目指した意見交換会はSAIPEの取り組みについてご意見をいただいたり、緩和ケアIPW研修会のように、我々が実施してきたものを応用した形で現職者向けの研修としてお示ししたり、ご後援をお願いするなどを行ってきた。さらに、地域における連携の課題、連携ができる人材育成の課題などについて意見交換することと趣旨として今年はZoom等オンラインツールを用いた遠隔だけでなく、対面でも開催した。	80	0	本事業により、埼玉県内の保健・医療・福祉・建築分野の各職能団体と専門職を育成する大学との間に良好な連携関係が構築できると考えられる。これにより、大学で育成した連携力の高い人材が将来活躍しやすい職場環境を整備できるとともに、ステーキホルダーである埼玉県民の生活の質の向上が期待できる。	5月の意見交換会（オンライン）では前回に続き「この会の名称を考えよう（2）」について意見交換し、本会の名称が「Sai_UPPs（サイアップ）」に決定した。12月の意見交換会（対面）は「連携できるひとはどんなひと？」というテーマで意見交換を行った。これにより参加者間の共通理解や交流が深まった。	5月はオンライン開催であったが、12月には新型コロナウイルス感染症流行以来の対面での開催となった。初めて直接お会いする方も多く、名刺交換や雑談などを通して交流を深めることができた。	現状特に課題はなく、今後も継続実施の予定である。今後もSAIPEと職能団体が共同して企画・運営をするイベント等を開催していくことにより、各職能団体の若手人材や各大学の若手教員、学部生などを巻き込み、連携を広げていく必要がある。
68	薬学部医療栄養学科 Tokigawa Study	2024/5/30～ 2024/6/5	真野博	産学官連携、産学連携、官学連携;	Tokigawa Study	ときがわ町	ときがわ町保健センター	住民食事調査	200	9				
69	薬学部医療栄養学科	2024/6/15～ 2024/6/16	伊東順太	産学官連携、産学連携、官学連携;	イオンモール浦和美園 うららか広場 「栄養士職業体験 君もミライの栄養士」	埼玉県	イオンモール浦和美園	「食事バランスチェックシート」を用いたご家族の栄養バランスをチェックする小中学生向け栄養士職業体験イベント		9				
70	薬学部医療栄養学科 薬物療法学	2024/7/19	須永克佳	授業（地域から外部講師を招聘）;	城山地域交流センター講座	坂戸市		「ハーブの効果について」というタイトルで2時間の講演を行った。メディカルハーブの定義・活用範囲、伝統医学とハーブ、医薬品の起源となったハーブ、メディカルハーブの健康効果（機能性）などについて解説した。	60	0				
71	薬学部医療栄養学科	2024/8/23	伊東順太	小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動;	武南プレミアカップにおける高校生フットサルチームに対する栄養講習会	埼玉県坂戸市	武南高等学校（埼玉県）等	2024年8月23日に城西大学総合体育館で行われた高校生フットサル大会「武南プレミアカップ」において女子高校生フットサル選手に向けて「高校生アスリートの補食・リカバリー～ベストパフォーマンスのために今日から使える活用法～」と題し、栄養講習会を実施した。		3				
72	薬学部医療栄養学科 彩の国連携力育成プロジェクト（SAIPE）	2024/8/26～ 2024/8/30	古屋牧子（SAIPE委員会）	授業（学外で調査・活動）;	彩の国連携力育成プロジェクト「IPW実習」	埼玉県	埼玉県立大学、埼玉医科大学、城西大学、日本工業大学、埼玉県	彩の国連携力育成プロジェクトで実施運営している彩の国連科目の一つとして、IPW実習を実施している。埼玉県内の17施設（病院、高齢者施設、障がい者施設等）に赴き、利用者及び患者を対象に専門分野の異なる4大学の学生（埼玉県立大学、埼玉医科大学、城西大学、日本工業大学）が、対象者の支援計画を作成することで、チーム形成のプロセスや多職種による連携を学ぶ。オリエンテーション2日間、実習3日間、全体報告会が1日の、合計6日間の実習である。	144	9	埼玉県内の各施設（病院、高齢者施設、障がい者施設等）において、利用者及び患者を対象に専門分野の異なる4大学の学生が、対象者の支援計画を作成することで、チーム形成のプロセスや多職種による連携を学ぶ。保健医療福祉関係の3大学と工学系1大学による取り組みであり、本学単一では学ぶことが出来ない実習である。	他の専門職を目指す学生とともに学ぶことで、様々な専門職の専門性について知ることができた。また、患者・利用者さんやご家族、病院や施設の専門職の方、他の専門職を目指す学生とのやりとりを通じ、患者・利用者さんのケアに対する様々な知識やアプローチの方法を知ることができた。これらを通して、コミュニケーション能力や多職種と連携する力を身に付けることができた。	昨年度に引き続き、今年度も対面で実施することができた。以前に比べて感染症への対応は緩和された。実際に実習先へ赴くことで施設の様子が把握しやすく、理解が深まった。チームメンバーと円滑なコミュニケーションを取ることで、患者や利用者、専門職へのインタビューによる学びも深まった。	台風の影響により報告会が対面で実施することができなくなったため、急遽オンラインでの実施と再対応に追われた。実習期間が試験期間と重複していること、移動時間・交通費などに関する学生側の負担感の増加等が影響し、例年に比べて参加申込者が少なく定員に満たなかった。これらの点については、募集学年の変更、交通費のサポート等を検討している。
73	薬学部医療栄養学科 彩の国連携力育成プロジェクト（SAIPE）	2024/9/8	古屋牧子（SAIPE委員会）	公開講座等、地域へ向けた講座;	彩の国連携力育成プロジェクト第7回『緩和ケアIPW（多職種連携）研修会』	埼玉県	埼玉県立大学、埼玉医科大学、城西大学、日本工業大学、埼玉県内専門職団体（本研修会では、埼玉県医師会、埼玉県薬剤師会、埼玉県管理栄養士会、埼玉県理学療法士会、等）	緩和ケアにおいて“患者さんの生活の質”、“ケアの質”、“医療の質”を高めるためには多職種連携（専門職連携）が必要とされている。平成24年度から埼玉県内4大学（埼玉県立大学、埼玉医科大学、城西大学、日本工業大学）と埼玉県とが取り組んで来た「彩の国連携力育成プロジェクト」が開発した教育プログラムを用いて、埼玉県内の専門職の“連携力”の育成を目指して研修会を開催した。	34	0	緩和ケアに特化した利用者中心の統合されたケアを創造するための「利用者・地域の問題解決プロセス」の模倣的多職種連携演習を通して、緩和ケアにおける「チーム形成」、および「組織や機関間・地域連携」にも意図的に目を向け、より良い緩和ケアIPWの方法やあり方を考える機会とし、今回の研修会は、オンラインによる遠隔で実施することから、特に「オンラインによる遠隔」と「対面」の「やりとり（連携）」の違いについても考える機会とした。	例年に引き続きオンラインで実施した。本研修会の目的の一つ、後輩指導のために現場の意欲を高めるのについても理解していた。	運営としては、オンライン演習は、特に滞りなく実施できた。参加職種についても大きな偏りはなく実施できた。	対面で実施していた時に比べると参加人数が減っていることから、実施方法（対面実施 or 遠隔実施）、募集方法について検討する。
74	薬学部医療栄養学科 彩の国連携力育成プロジェクト（SAIPE）	2024/9/28～ 2024/9/29	古屋牧子（SAIPE委員会）	授業（地域の学習・研究）;	リレー・フォー・ライフ・ジャパン川越2024	川越市	埼玉県立大学、埼玉医科大学、城西大学、日本工業大学、埼玉県	4大学連携（IPE）の学生と共にがん患者さんご家族に対してリレーを通して支援をする、がん制圧に向けた世界共通のチャリティイベントであるリレー・フォー・ライフ・ジャパン川越2024に参加した。今年度も昨年度に引き続き現地で活動を行った。SAIPE活動企画として、昨年に引き続き埼玉医科大学の産婦人科医である高橋幸子先生監修のもと、「6つのがんを防ぐ「HPVワクチン」を知る・考える・伝える」をテーマとして、HPVワクチンに関するポスターの作成、相談会、スタンブラリーの開催、SNSによる発信など様々な活動を行った。	448	5	がん患者さんの想いやご家族の苦勞に触れ、これから医療者になることを立案・実行する機会となった。現地での活動を通して、他大学/他学科の学生が連携しながら一つの目的を共有して活動したことで、達成感と自信に繋がった。	本活動を通して参加者一人一人ががん患者さんについて向き合い、自分たちが患者さんに対して出来ることを立案・実行する機会となった。現地での活動を通して、他大学/他学科の学生が連携しながら一つの目的を共有して活動したことで、達成感と自信に繋がった。	上記教育上の目的の達成に加え、主体的に学生同士が連携/行動することで、学生ごとの目標や課題に対する達成感が得られたことが実施後のアンケート結果から明確になった。また、次回も活動に参加したいとの意見が多数あった。	活動開始の時期、大学間でのスケジュールの調整が課題である。次年度は募集時期を早め、余裕を持って実施できるようにする。
75	短期大学 村越ゼミナール 1・2年生	2024/4/12～ 2024/11/8	村越純子	授業（学外で調査・活動）;授業（地域の学習・研究）;2024年度地域連携活動発表会で報告;	川越歴史文化遺産巡り	川越市	なし	ゼミナール活動として、2年生が川越にある歴史文化遺産巡りを企画した。川越は城西大学から近く、歴史的名所が多いからである。2年生は名所を選定し行程表を作り、5月17日に1年生対象の説明会をした。6月5日に1・2年生合同で川越にある喜多院、川越城、川越まつり会館、菓子屋横丁を訪問した。ゼミ生各自が特に関心をもった場所の写真を撮影し、授業でそれらの感想発表会をした。夏休み中には水田記念図書館に3回集まって、地域連携センター主催地域連携活動発表会に向けて、双六形式で川越にある歴史文化遺産を学ぶことができる展示パネル用PPTを作成した。ゼミ生たちが撮影した写真の中から、歴史文化について知識を深めることのできる写真を選び、その写真についての詳しい解説文を作成した。11月3日の高麗祭のなかで、1年生と2年生の代表者は地域の方々や在校生および卒業生を対象にして双方向型のプレゼンテーションをして好評をえた。	100	16	ゼミナール活動によって学生の社会人基礎力を高めることを目指していた。「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」という3つの能力、それらを構成する12の能力要素をバランスよく高めることを主眼としている。	発表会後の反省会において、ゼミ生の多くは学外の方々に報告する機会があったことでプレゼンテーションに自信がもてるようになった。自分の成長が確認できたことと、後輩指導のために現場の意欲を高めるのについても指摘していた。さらに、仲間と協力して作業をすることで、自分が思っていた以上の成果を出すことができる喜びに気づいた学生もいた。	地域連携センターの方々が発表準備にむけて積極的に支援してくださること、そしてアンケートを実施するだけでなく、学生にまでその結果をフィードバックできる仕組みを作っていることが素晴らしい。また、地域連携活動発表会のために作成したPPT作品を城西大学機関リポジトリJURAにすぐに掲載、公開いただいたことで、学生たちは就活で求められるガクチャとしてそれを用いて説明できることがとてもありがたい。	短大は廃校となるため、このような活動に継続性がないこと。
76	リベラルアーツセンター	2023/2/1～ 2025/1/31	大橋稔	委員の委嘱、会議への参加;	川越市男女共同参画審議会委員	川越市	川越市	川越市男女共同参画審議会の委員および会長として活動した。		0				
77	リベラルアーツセンター	2024/6/21	デー礼・シーナー	小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動	毛呂山町立光山小学校 4年1組「外国語活動」	毛呂山町	毛呂山町立光山小学校 4年1組	毛呂山町立光山小学校 4年1組の「外国語活動」の授業で講師を務めた。ネイティブ話者が講師であったため、センター所属の教員3名が補助として同行し、授業のサポートを行った。簡単な英語単語の練習と、それらを用いたアクティビティを行い、生徒に英語に親しんでもらった。		0	対象となったクラスの児童たちが、ネイティブ話者による英語に直接触れる機会を提供することができ、英語に対する関心が高めることができる。またコトバが難しいものなのでなく、楽しいものであると感じることができる。	児童の吸収力、順応力は非常に高く、新しいものへの関心が高いこと。	サポート教員を導入したことで、児童への細やかな対応ができた。	担任より同っていたよりも、児童の順応力は高く、もう少し高度なこともできたのではないかと、実際に児童と会ってからでも多少の変更が可能な柔軟性を持った準備ができればさらに良かった。

No.	所属	実施日	活動の代表者	活動の種別	活動・事業の名称	活動地域	連携自治体、団体等	連携概要	参加人数 (全体)	参加人数 (城西生)	この事業で想定される学び、成果	得られた学び、成果	良かった点	課題、改善点
78	リベラルアーツセンター	2024/8/1	大橋稔	スピーチコンテスト;	第13回城西大学英語スピーチコンテスト	埼玉県を中心に全国からの応募あり	埼玉県、坂戸市、鶴ヶ島市	英語学習の成果発表の場として、英語スピーチコンテストを行った。高校の部15名、大学の部7名が当日は登壇した。		2				
79	リベラルアーツセンター	2024/10/26	大橋稔	スピーチコンテスト;	第10回城西大学中国語スピーチコンテスト	埼玉県を中心に全国から応募あり	埼玉県、坂戸市、鶴ヶ島市	中国語学習の成果発表の場として、中国語スピーチコンテストを行った。朗読の部15名、スピーチの部7名が当日は登壇した。		2				
80	リベラルアーツセンター	2025/1/17	大橋稔	公開講座等、地域へ向けた講座;	令和6年度川越市男女共同参画職員研修		川越市	令和6年度川越市男女共同参画職員研修における講師。演題「男女共同参画とは：今改めて考えるジェンダー」		0				
81	リベラルアーツセンター	2025/2/9	大橋稔	公開講座等、地域へ向けた講座;	かつしか区民大学 単位認定講座「人と文化とジェンダーと。」第2回講師	東京都葛飾区	東京都葛飾区	葛飾区の生涯学習支援活動の一環である「かつしか区民大学」の講座「人と文化とジェンダーと。」の第2回講義の講師を担当した。演題「くわたし」を生きる：アメリカ黒人女性から学ぶ」		0				
82	リベラルアーツセンター	2025/2/22	大橋稔	公開講座等、地域へ向けた講座;	かつしか区民大学 単位認定講座「人と文化とジェンダーと。」	東京都葛飾区	東京都葛飾区	かつしか区民大学の単位認定講座「人と文化とジェンダーと。」で第3回講義の講師を担当した。演題「多様性の社会を生きる：女性学・ジェンダー研究の視点から考える」		0				
83	国際教育センター	2024/10/18	石田 明日香	授業(学外で調査・活動);	筑波大学付属坂戸高校の学生との交流	坂戸氏	筑波大学付属坂戸高校	筑波大学付属坂戸高校の学生より、留学生在に日本の高校を体験してほしいと招待していただき、本学の交換留学生在が5名ほどお邪魔して、日本の高校（体育の授業、ホームルーム、クラブ活動）を体験してきました。	30	5	留学生の高校体験	高校生は留学生との交流をたのしみ、交換留学生は日本の高校生の授業を垣間見れたこと	お互いの異文化交流、留学生は白玉を作ったことが楽しかったと言っていました	学生が自ら企画してくれていたこともあり、体育の授業に行ったところ、体育の先生があまり把握しておらず体力測定日であったりと学生ならではの企画という印象でした。
84	国際教育センター	2024/11/6	田口 信一	小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動;	日本医療科学大学学生との国際交流会	埼玉県		将来的に医療従事者を志す者が多い日本医療大学の学生ですが、近年は病院にくる患者さんも多様化しており、日本に長年住んでいる外国人以外にも、旅行や留学できている人など病院には様々な患者さんが訪れます。その中で、海外の医療事情を知ったり、外国の人とコミュニケーションをとる方法を学ぶため、城西大学の留学生在が日本医療大学を訪問しました。交流から始まり、言語翻訳アプリなども使用しながら、それぞれの医療事情について話したりとお互いの文化を知る時間を共有しました。	40	8	医療機関に外国籍の患者さんが来ることを想定して、問題なく対応できるように。	直接日本語や英語でコミュニケーションがとれればそれに越したことはないが、そうでなくてもアプリ等を使用してコミュニケーションが取れること。また他の文化を尊重すること。	両大学の学生ともに緊張していたが、最初にちょっとしたゲームを挟むことで、その後スムーズな意見交換につながったこと。	
85	水田記念図書館 学生アドバイザー	2024/5/25	関口 千登世	学生協働交流会;	「第1回SALA加盟館 学生協働交流会」他大学の学生と交流を深めよう」	会場：坂戸市城西大学水田記念図書館(埼玉県内大学・短期大学)	埼玉県大学・短期大学図書館協議会、立正大学、文教大学、聖学院大学、獨協大学、駿河台大学、城西大学	SALA加盟大学の図書館業務に関わる学生が、「交流・連携」を通し、新たな知見の獲得、人脈の拡大、経験の蓄積など、学生生活や将来につながるきっかけ作りになるよう、企画された。上記交流会に本学図書館学生アドバイザーが9名参加した。 (参加学生) 経営学部4年 渡部さん・松岡さん・小林さん 経営学部3年 大木さん・川添さん 経済学部4年 清水さん、現代政策学部4年 川崎さん・吉田さん 理学部3年 川上さん アイスブレイク(自己紹介・他己紹介)、ボードゲーム、グループディスカッション	36	9	アイスブレイクやボードゲームを活用し、他機関の学生・学生協働団体を「知ることに」、「交流を深めること」を目的として実施する。継続的に、各機関・団体が持つ課題について議論したり、深い形での連携・交流を行う。	・アイスブレイクの他己紹介では、自分のことを相手にわかりやすく伝える力や、観察力、傾聴力、相手の良さを魅力的に伝えるプレゼン力を養えた。・ゲームを通して、参加者相互の交流を深めるとともに、ディスカッションすることでコミュニケーション能力が養えた。	・普段接することのない、他校の図書館サポーターと情報交換ができ、有意義で貴重な機会となった。・今後の学生協働活動のコンタクトを取るための手段を得られた事は、非常に大きいと感じた。	
86	水田記念図書館	2024/7/19	関 俊暢	委員の委嘱、会議への参加;	地域相互協力図書館 館長および主務者の集い	埼玉県坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、飯能市、毛呂山町、越生町	坂戸市立図書館、鶴ヶ島市立図書館、日高市立図書館、飯能市立図書館、毛呂山町立図書館、越生町立図書館（地域相互協力図書館）	・2023年度の地域相互協力図書館関連事業の報告 ・2024年度地域相互協力図書館事業について検討 ・大学図書館と近隣図書館の連携により、情報交換、事業協力をする ことで、今後の図書館の在り方を共に考える。 ・合同で講演会や研修会を企画実施することで図書館利用促進を促し地域活性化に繋げる。	8	0				
87	水田記念図書館 学生アドバイザー	2024/7/30～2024/8/8	関口 千登世	産学官連携、産学連携、官学連携;小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動;	「楽しもう！図書館を使った調べる学習コンクール」応援講座	坂戸市	坂戸市立図書館（地域相互協力図書館）	・坂戸市立中央図書館において、学生アドバイザー12名が「楽しもう！図書館を使った調べる学習コンクール応援講座」で講師を務めた。 (参加学生) 経営学部4年 渡部さん・松岡さん・小林さん、3年 幡谷さん・大木さん、経済学部4年 清水さん、現代政策学部4年 吉田さん、3年 岡野さん・小林さん・吉野さん、理学部数学科3年 川上さん、理学研究科1年 前川さん ※2024年7月30日(火)、8月2日(金)、6日(火)、8日(木)の4日間	27	12	・普段接点の少ない小学生のサポートをすることで、思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力が養える。・地域社会の一員としての意識を育み、人とのつながりを活性化する。	・相手に合わせた対応方法を考え、理解しやすい言葉を選びながら論理だてて話す力が養えた。・小学生をサポートしたことで小学生の発言・行動から沢山の刺激を受け、今後の活動の経験値となった。	・小学生をサポートするために自ら学び、考え行動できた。・いろいろなことを一生懸命学んだり、吸収したりしている子どもたちから刺激を受け、自身も頑張ってみようと感じた。・公共図書館との相互協力協定により、このような機会がもてた。	
88	水田記念図書館 学生アドバイザー	2024/10/9	関口 千登世	全国大学ビブリオバトル;	全国大学ビブリオバトル2024 ブロック予選 城西大学	全国	全国大学ビブリオバトル予選事務局	開催場所：城西大学水田記念図書館7階ラーニングコモンズ 司会：図書館学生アドバイザー ・制限時間の5分を使って紹介本の魅力を観客に伝える上記全国大会の予選会を行った。	57	48	・発表者：大勢の聴衆の前で本を紹介することで読解力、および発表のためのコミュニケーション能力を養い、プレゼンテーション能力を発揮する。・学生アドバイザー：役割に責任を持ち協力しながら、運営経験を積むこと。司会は、多くの観覧者 앞에서司会進行を行うことでプレゼンテーション能力を養う。	・発表者：ビブリオバトルで本を紹介するための読解力および発表のためのプレゼンテーション能力の向上。・学生アドバイザー：リハーサルで自発的に確認事項のチェックを行い、台本通りスムーズに進行できた。	ビブリオバトルを通して、他大学の学生と交流できる良い機会となった。	発表者の応募が少なく、今後の募集については検討が必要。
89	水田記念図書館	2024/10/10	関 俊暢口	委員の委嘱、会議への参加;	鶴ヶ島市立図書館を使った調べる学習コンクール審査委員長	埼玉県鶴ヶ島市	鶴ヶ島市教育委員会（鶴ヶ島市立図書館）	公益財団法人図書館振興財団主催の調べる学習コンクールに応募された鶴ヶ島市在住の小学生の作品の審査を行う。		0			審査を通して地域の小学生の研究活動の支援ができる。	
90	水田記念図書館	2024/10/23	関口 千登世	委員の委嘱、会議への参加;	坂戸市立図書館を使った調べる学習コンクール審査委員	埼玉県坂戸市	坂戸市教育委員会（坂戸市立図書館）	公益財団法人図書館振興財団主催の調べる学習コンクールに応募された坂戸市在住の小学生の作品の審査を行う。		0			審査を通して地域の小学生の研究活動の支援ができる。	
91	水田記念図書館 学生アドバイザー	2024/10/27	関口 千登世	産学官連携、産学連携、官学連携;近隣公共図書館イベント;	第34回 鶴ヶ島市立図書館）図書館まつり	鶴ヶ島市	鶴ヶ島市立図書館（地域相互協力図書館）	上記イベントに、学生アドバイザー4名が参加し、「身近にある薬用植物：関連図書の展示と、薬用植物を使った小物づくり体験」を実施した。 (参加学生)薬学部薬学科4年 田幡さん、現代政策学部3年 小林さん・小川さん、理学部数学科3年 川上さん	100	4	・鶴ヶ島図書館まつりで来館した方と触れ合うことで、思考力・判断力・コミュニケーション能力が養える。・地域社会の一員としての意識を育み人とのつながりを活性化する。	・相手に合わせた対応方法を考え、分かりやすく理解しやすい言葉を選びながら論理だてて話す力が養えた。・小学生をサポートしたことで小学生の発言・行動から沢山の刺激を受け、今後の活動の経験値となった。	・公共図書館との相互協力協定により、このような機会がもてた。・次年度への課題を確認することができた。	想像以上に参加してもらえたため、予約方法や材料の分量を再度検討したい。
92	水田記念図書館 学生アドバイザー	2024/11/3	関口 千登世	公開講座等、地域へ向けた講座;	2024城西大学地域連携活動発表会(パネル展示)	埼玉県	城西大学地域連携センター	「開かれた大学づくり」の一端として教職員・学生が取り組む地域連携活動の内容を展示し、パネルセッション形式で来場者へ紹介した。上記ポスターセッションに本学図書館学生アドバイザー3名が参加した。経済学部4年清水さん、経営学部3年川添さん、現代政策学部3年小川さん		3	・発表を通じてコミュニケーション能力が養える。・地域行事に参加し地域社会の一員としての意識を育み地域のつながりを活性化する。	パネルを作成することで、地域連携活動について振り返り考える良い機会となった。学生の発表機会が増え、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の向上が見られる。	・論理だてて話す力が養えた。・観客者とのデスカッションによりコミュニケーション能力が養えた。	
93	水田記念図書館 学生アドバイザー	2024/11/3	関口 千登世	高麗祭;	ビブリオバトル2024 in 高麗祭	坂戸市近隣	高麗祭	開催方法：高麗祭特設ステージで対面実施 ・司会を学生アドバイザーが担当し、4名の発表者が制限時間の5分を使って紹介本の魅力を観覧者に伝えた。	105	59	発表者：大勢の観戦者の中で本を紹介することで読解力、および発表のためのプレゼンテーション能力を養う。	発表者：全国大学ビブリオバトル予選会に出場した発表者が出場し、プレゼンテーションがさらに向上した。学生アドバイザー：リハーサルで自発的に確認を行い、本番に臨むことができたため、全般を通してスムーズな運営を行う事ができた。	学生アドバイザー全員がそれぞれの役割を果たし、たくさんの観戦者の前で無事イベントを開催することができた。会議で来年に向けて改善点や反省点を共有した。	発表希望者が少ないため、募集については課題が残った。

No.	所属	実施日	活動の代表者	活動の種別	活動・事業の名称	活動地域	連携自治体、団体等	連携概要	参加人数 (全体)	参加人数 (城西生)	この事業で想定される学び、成果	得られた学び、成果	良かった点	課題、改善点
94	水田記念図書館 学生アドバイザー	2024/11/5～2024/11/7	関口 千登世	展示会;	第25回図書館総合展：学生協働サミット	会場：神奈川県横浜市（パンフィコ横浜）※オンライン 11/16～11/24	主催：図書館総合展運営委員会 企画・運営：カルチャー・ジャパン（JCC） （参加学生）薬学研究科1年津久井さん、経営学部4年渡部さん、松岡さん、小林さん、経済学部4年清水さん、経営学部3年川添さん、現代政策学部4年川崎さん、現代政策学部3年小川さん ※会場開催：2024/11/5・11/6・11/7（オンライン開催期間11/16～11/24）	上記展示会に本学図書館学生アドバイザーが8名参加し、地域の公共図書館との連携事業についてポスターセッションで発表した。また、学生協働サミットでは学生アドバイザー活動について発表した。 （参加学生）薬学研究科1年津久井さん、経営学部4年渡部さん、松岡さん、小林さん、経済学部4年清水さん、経営学部3年川添さん、現代政策学部4年川崎さん、現代政策学部3年小川さん ※会場開催：2024/11/5・11/6・11/7（オンライン開催期間11/16～11/24）	12000	8	・他大学図書館の取り組みを知ることができる。 ・他大学の図書館で自身と同じような活動している学生と交流することでコミュニケーション能力を養える。 ・ポスターセッションや学生協働サミットの活動紹介を通してプレゼンテーション能力を養える。	・図書館関連企業のほか大学図書館で活動している団体も多く参加し、貴重な交流・情報交換の場となった。 ・他大学の活動内容に刺激を受けて、今後の活動に活かしたいという意欲が湧いた。	・他大学の学生と接する機会は大変貴重な機会となり、各々人脈を広げられたため、引き続き継続して参加、交流していきたい。 ・ポスターを協力して製作することで、チームワークが深まった。 ・本学学生アドバイザーの活動を多くの方に知っていただいた。	多くの学生に参加してもらいたいが、平日開催のため、授業で参加できない学生がいた。
95	水田記念図書館 学生アドバイザー	2024/11/30	関口 千登世	学生協働フォーラム;	Supporters’ Forum 2024	会場：東京都世田谷区、オンライン会場：兵庫県神戸市（国内全域）	成城大学・甲南大学・京都橋大学学生サポーター団体成城大学教育イノベーションセンター	前半：全体ワーク 成城大会会場と甲南大会会場の2会場をオンラインで繋げて実施。 『言葉を紡ぎ関係を深める：コミュニケーションで見つける自分軸』についてグループワークを通して組織内の役割をより効果的に果たし、自分らしく活動するための土台を実践的に学ぶ。 後半：学習・キャリア・国際交流・高大連携の分科会に分かれて実施。 上記イベントに学生アドバイザー3名が参加した。 （参加学生） 現代政策学部3年 岡野さん・吉野さん、理学部数学科3年石川さん	230	3	学生サポーター団体（学習支援、国際交流、キャリア支援、ライブラリー）の相互理解と外部の学生サポーター団体との連携を図る。	前半：アサーティブなコミュニケーションについて学び、グループワークでは、体感的にチームビルディングにおけるコミュニケーションのあり方について学ぶことができた。 後半：ビブリオトークを通して、身近にある作品の魅力をより良く伝える方法を学び、前半に学んだアサーションスキルを活かして、ディスカッションに進化をもちたすことができた。	25大学、3高校の総勢約230名が参加する大規模イベントにオンラインで参加することができ、他大学の学生サポーターと交流することが出来た。	
96	水田記念図書館	2024/12/8	関口 千登世	埼玉県内図書館イベント;	図書館と県民のつどい埼玉2024	埼玉県全域	埼玉県図書館協会、埼玉県教育委員会、埼玉県学校図書館協議会、埼玉県高等学校図書館研究会、桶川地域文化振興共同事業体、桶川市、桶川市教育委員会、NHKさいたま放送局、FMNACK5、テレ玉、公益財団法人日本教育公務員弘済会埼玉支部、埼玉県大学・短期大学図書館協議会（SALA）、埼玉県書店商業組合、一般財団法人出版文化産業振興財団（JPIC）、公益財団法人文学・活字文化推進機構	毎年行われる埼玉県最大の図書館イベント。公共図書館、学校図書館、大学図書館のほか、活字文化に関わる団体が参加し桶川市民ホール・さいたま文学館で開催された。 ・本学は埼玉県大学・短期大学図書館協議会（SALA）の有志として展示に参加。 ・図書館総合展で出展した「がんばれ小学生！未来の博士を応援！」のポスターや地域連携活動発表会パネルを展示し地域連携活動について紹介した。 ・身近にある薬用植物の関連図書の展示と薬用植物を使用して作成したレジン小物やポストカードをプレゼントした。 ・100名以上の方に水田記念図書館のパンフレットや図書館報（BookMark）を配布し、利用案内を行った。		0		学生アドバイザーが行った地域連携活動を紹介することで、城西大学を知っていただく良い機会となった。 館種を超えた交流を通して、今後の業務に活かせる取り組み等を知ることができた。		
97	水田記念図書館 学生アドバイザー	2024/12/14	関口 千登世	SALA(埼玉県大学・短期大学図書館協議会)研修会;	第36回SALA研修会 学生協働活動の可能性と展望	会場：立正大学熊谷キャンパス(埼玉県内大学・短期大学)	立正大学、文教大学、聖学院大学、獨協大学、駿河台大学、城西大学	SALA加盟大学の図書館業務に関わる教職員およびピアサポーター学生の研修会として実施。今年度よりSALAで開始した学生協働活動について、活動の効果や課題について、有識者の講演を通して、SALAにおける学生協働活動連携の可能性について考える。 上記研修会に、本学図書館学生アドバイザー5名が活動紹介とパネルディスカッションに登壇し発表した。 （参加学生）経営学部4年 渡部さん・3年 幅谷さん・保坂さん 経済学部4年 清水さん、現代政策学部3年 小林さん	50	5	・SALAにおける学生協働活動連携の可能性(波及効果や相乗効果)について考える。 ・SALAの研修会で学内外での多様な立場・年齢のひととの対話を通じて活動の実践や経験を身に付ける。 ・他機関の学生・学生協働団体の活動を知り、交流を深める。	・活動紹介資料を作成することで、活動を振り返るよい機会となった。 ・限られた時間内に分かりやすく活動紹介することで、プレゼンテーション能力、論理的思考力を養う事が出来た。 ・パネルディスカッションでは、他大学の視点から様々な意見を聞き知識を深め、問題解決方法を探ることができた。	・各大学の事例報告やパネルディスカッションを通じて情報交換ができ、有意義で貴重な機会となった。	
98	水田記念図書館	2024/12/18	関口 千登世	公開講座等、地域へ向けた講座;	第13回地域相互協力図書館合同主催公開講座	坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、飯能市、毛呂山町、越生町	坂戸市立図書館、鶴ヶ島市立図書館、日高市立図書館、飯能市立図書館、毛呂山町立図書館、越生町立図書館	(公社)東京生薬協会学術委員会副委員長・薬用植物栽培指導員の白瀬義明先生による「漢方薬で使われる薬草 ～かぜ症候群に使われる葛根湯など～」を開催し、地域の方、公共図書館員など41名が参加した。	41	0			・参加者とディスカッションを交えながら進めた講演で、生薬それぞれの効能や使用されている薬用植物について楽しみながら学ぶことができた。 ・公共図書館との連携により広報活動が活発にできた。	定員を増やし、より多くの方に参加してもらえるように会場を整えたい。
99	水田記念図書館 学生アドバイザー	2025/1/20～2025/1/22	関口 千登世	小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動;	城山中職場体験学習2024	坂戸市	坂戸市立城山中学校	地域の中で様々な社会体験をとおして多様な人とふれあい、学校では得られない経験を積むことにより社会性及び自立心を養い生きる力をはぐくむ職業体験として、図書館の仕事を経験する。 1日目：図書館 情報資料管理業務（図書の装備） 2日目：学内見学・利用者サービス業務（図書の検索、貸出・返却、配架などカウンター業務） 3日目：おすすめ図書のPOP作成・展示 上記体験学習に、理学部1年川上さん、経営学部4年松岡さんが参加し、3日目のPOPの作成をサポートした。		2	中学生に分かりやすく説明することで、表現力・コミュニケーション能力が養えた。	2019年以降、数年ぶりに職業体験の受け入れを実施することができた。		
100	水田記念図書館	2025/3/6	関口 千登世	産学官連携、産学連携、官学連携;公共図書館との合同研修会;	2024年度 地域相互協力図書館合同研修会	坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、飯能市、毛呂山町、越生町	坂戸市立図書館、鶴ヶ島市立図書館、日高市立図書館、飯能市立図書館、毛呂山町立図書館、越生町立図書館	城西大学水田記念図書館 7階ラーニングコモンズにおいて、連携・相互協力を行っている近隣公共図書館（坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、日高市、飯能市）と合同研修会を実施し、「これからの図書館サービス」をテーマとして、「大学図書館との連携」や「若い世代の利用促進」を中心に意見交換を行った。	10	0		館種を超えて研修会を実施することで、貴重な情報交換の場となり、更なる利用者サービスの向上を目指すためのヒントが得られた。		
101	水田記念図書館 学生アドバイザー	2025/3/7	関口 千登世	学生協働交流会;	第3回SALA加盟館 学生協働交流一他大学の学生と交流を深め連携しよう	会場：駿河台大学(埼玉県内大学・短期大学)	埼玉県大学・短期大学図書館協議会、立正大学、文教大学、聖学院大学、駿河台大学、埼玉医科大学、城西大学	SALA加盟大学の図書館業務に関わる学生が、「交流・連携」を通して、新たな知見の獲得、人脈の拡大、経験の蓄積など、学生生活や将来につながるきっかけ作りになるよう、企画された。 上記交流会に本学図書館学生アドバイザーが5名参加した。 （参加学生）経営学部3年 大木さん・川添さん・幅谷さん 現代政策学部3年 小林さん・岡野さん アイスブレイク（自己紹介・ボードゲーム）、・2025年度活動内容・委員会設置検討	30	5	アイスブレイクやボードゲームを活用し、他機関の学生・学生協働団体と交流を深め、継続的に深い形での連携を行う。	・アイスブレイクのボードゲームでは、相手にわかりやすく伝える力や、観察力、傾聴力、相手の良さを魅力的に伝えるプレゼン力を養えた。 ・2025年度の活動内容をグループに分かれて話し合い、参加者相互の交流を深めコミュニケーション能力が養えた。	・他大学の図書館を見学し、取り入れられる工夫を発見できた。	
102	水田美術館	2024/4/1～2025/3/31	紫村裕美	産学官連携、産学連携、官学連携;.....	坂戸市観光推進事業への参加および協力	坂戸市	坂戸市役所商工労働課観光推進担当	坂戸市主導で発足された観光資源団体に2019年1月より参加。今年度は同市による、各団体観光入込客数（1月～12月）調査に協力した。	0	0				
103	水田美術館	2024/4/1～2025/3/31	紫村裕美	産学官連携、産学連携、官学連携;.....	埼玉県博物館連絡協議会HP掲載情報提供、西部地域加盟館園主催ミュージアムカード参加	埼玉県内全域		2012年度より加盟中の「埼玉県博物館連絡協議会」では、研修への参加や情報共有を行うなど、県内にある美術館・博物館と相互連携を図るようにしており、毎年、所属する西部地域の催物案内への情報提供や、「埼玉県博物館連絡協議会加盟館園マップ」の校正作業に協力している。	0	0				
104	水田美術館	2024/5/13～2024/6/14	紫村裕美	産学官連携、産学連携、官学連携、展覧会	「第9回めつけたさかど！デジタルフォトコンテスト入賞作品展」	坂戸市	坂戸市、坂戸市教育委員会、坂戸よさこい実行委員会	2018年度より美術館で開催している坂戸市主催「めつけたさかど！デジタルフォトコンテスト」の入賞作品展。2024年度開催では、2023年度に行われた第9回において、「観光編」の「いきいき坂戸部門」「自然・風景部門」に加え、新たに設けられた「縦写真部門」の3部門、そして「坂戸よさこい編」に応募のあった写真より、それぞれ最優秀賞、優秀賞、入選に選ばれた45点をご覧いただいた。	472	0				

No.	所属	実施日	活動の代表者	活動の種別	活動・事業の名称	活動地域	連携自治体、団体等	連携概要	参加人数 (全体)	参加人数 (城西生)	この事業で想定される学び、成果	得られた学び、成果	良かった点	課題、改善点
105	水田美術館	2024/7/7～ 2024/8/30	紫村裕美	産学官連携、産学連携、官学連携、小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動、展覧会	「福島尚鉄道画展－記憶が奏でる鉄道讃歌－」	日高市、坂戸市	日高市、日高市教育委員会、ギャラリー喫茶ガレリア・デ・カフェ・リモン、株式会社二見書房、株式会社カトー、城西川越中学校・城西大学付属川越高等学校鉄道研究会	地域作家の紹介展示として、埼玉県日高市在住の鉄道画家・福島尚（1969～）の鉄道画作品をご覧いただいた。自閉症を抱えながら、幼少期より大好きだった電車を描き続けたことで取り巻く世界を広げることができた作家のこれまでの歩みを、作品を中心にペーパークラフトによる鉄道模型や関連資料とともに紹介した。	1161	0				
106	水田美術館	2024/7/13	紫村裕美	産学官連携、産学連携、官学連携、公開講座等、地域へ向けた講座	展覧会関連企画「作家サイン会」	坂戸市	ギャラリー喫茶ガレリア・デ・カフェ・リモン	「福島尚鉄道画展－記憶が奏でる鉄道讃歌－」の関連イベントとして、作家サイン会を会期中の7月13日（土）午後2時より開催した。画集『福島尚鉄道画集～線路は続くよ～』（2016年、二見書房刊）購入者に作家がサインをした。	11	0				
107	水田美術館	2024/7/23	紫村裕美	産学官連携、産学連携、官学連携;;授業(地域の学習・研究)、小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動	日高市 ひ・まわり探検隊「JOSAI美術館・博物館ワークショップ」	坂戸市	日高市	日高市で毎夏実施される市内小学生の夏休み体験教室「ひ・まわり探検隊」に、昨年度に引き続き参加。昨年同様に、水田美術館、大石化石ギャラリー、理学部化学科が教室を受け持ち、美術館と化石ギャラリーのコラボ教室「JOSAI美術館・博物館ワークショップ」を7月23日（火）に、「世界にひとつだけのうちわを作ろう！！」を8月8日（木）に実施した。	8	0				
108	水田美術館	2024/7/28	紫村裕美	小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動、公開講座等、地域へ向けた講座	展覧会関連企画「鉄道模型運転体験会」	坂戸市	城西川越中学校・城西大学付属川越高等学校鉄道研究会	「福島尚鉄道画展－記憶が奏でる鉄道讃歌－」の関連イベントとして、1階多目的スペースに鉄道ジオラマを設置した城西川越中学校・城西大学付属川越高等学校鉄道研究会による運転体験イベントを7月28日（日）午前10時～午後4時まで開催しました。鉄道研究会部員のレクチャーのもと、お子様を中心に楽しそうにミニチュアの鉄道を動かしていました。	26	0				
109	水田美術館	2024/8/8	紫村裕美	産学官連携、産学連携、官学連携;;授業(地域の学習・研究);;小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動;;	日高市 ひ・まわり探検隊「JOSAI美術館・博物館ワークショップ」	坂戸市	日高市	日高市で毎夏実施される市内小学生の夏休み体験教室「ひ・まわり探検隊」に、昨年度に引き続き参加。昨年同様に、水田美術館、大石化石ギャラリー、理学部化学科が教室を受け持ち、美術館と化石ギャラリーのコラボ教室「JOSAI美術館・博物館ワークショップ」を7月23日（火）に、「世界にひとつだけのうちわを作ろう！！」を8月8日（木）に実施した。	8	0				
110	水田美術館	2024/8/21	紫村裕美	小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動、公開講座等、地域へ向けた講座;	展覧会関連企画「鉄道模型運転体験会」	坂戸市	城西川越中学校・城西大学付属川越高等学校鉄道研究会	「福島尚鉄道画展－記憶が奏でる鉄道讃歌－」の関連イベントとして、1階多目的スペースに鉄道ジオラマを設置した城西川越中学校・城西大学付属川越高等学校鉄道研究会による運転体験イベントを8月21日（水）午前10時～午後4時まで開催しました。鉄道研究会部員のレクチャーのもと、お子様を中心に楽しそうにミニチュアの鉄道を動かしていました。	36	0				
111	水田美術館	2024/8/24	紫村裕美	産学官連携、産学連携、官学連携;;;;公開講座等、地域へ向けた講座;	展覧会関連企画「作家サイン会」	坂戸市	ギャラリー喫茶ガレリア・デ・カフェ・リモン	「福島尚鉄道画展－記憶が奏でる鉄道讃歌－」の関連イベントとして、作家サイン会を会期中の8月24日（土）午後2時より開催した。画集『福島尚鉄道画集～線路は続くよ～』（2016年、二見書房刊）購入者に作家がサインをした。	23	0				
112	水田美術館	2024/9/17～ 2024/10/11	紫村裕美	展覧会	「パッケージ小晰 杏ノ巻－観光たばこにみる懐かしの日本－」	坂戸市		新たに収蔵品として加わった観光・記念たばこパッケージのうち、1970～80年代にかけて販売されていた観光たばこパッケージに焦点を当て紹介する展覧会。全国の観光地やお祭りが期間限定で一般銘柄のパッケージにデザインされ、写真とイラストからその土地それぞれがもつ文化や名所、風習、そして人々の様子を通じて、当時の懐かしさを感じていただいた。	651	0				
113	水田美術館	2024/9/28	紫村裕美	公開講座等、地域へ向けた講座;	展覧会関連企画ギャラリートーク	坂戸市		展覧会「パッケージ小晰 杏ノ巻－観光たばこにみる懐かしの日本－」関連イベントとして、たばこパッケージ寄贈者の加藤寛之氏（元城西大学職員）による講演会とギャラリートークを開催、加藤氏の豊富な知識と軽快な話ぶりが参加者を終始惹きつけた。	10	0				
114	水田美術館	2024/9/28	紫村裕美	公開講座等、地域へ向けた講座;	展覧会関連企画講演会「観光たばこのヒ・ミ・ツ」	坂戸市		展覧会「パッケージ小晰 杏ノ巻－観光たばこにみる懐かしの日本－」関連イベントとして、たばこパッケージ寄贈者の加藤寛之氏（元城西大学職員）による講演会とギャラリートークを開催、加藤氏の豊富な知識と軽快な話ぶりが参加者を終始惹きつけた。	8	0				
115	水田美術館	2024/10/21～ 2024/11/8	紫村裕美	産学官連携、産学連携、官学連携、展覧会	「2024城西大学地域連携活動報告展」	坂戸市		地域連携センターとの共催で「2024城西大学地域連携活動発表会・報告展」を開催した。「発表会」は23号館JOSAI HUBを会場に、学生主体による展示で、直近の活動についてパネルの構成や作成を学生自ら行う。「報告展」は美術館を会場に、教員主体で近年取り組んできた活動を詳細に報告していただく展示となる。今回は経営学部、経済学部、現代政策学部、薬学部医療栄養学科、理学部化学科より5つの活動を報告。本学の地域連携活動の様相を学生目線、教員目線の両視点からご覧いただいた。	651	0				
116	水田美術館	2024/10/26	紫村裕美	産学官連携、産学連携、官学連携;;;;公開講座等、地域へ向けた講座;	第34回鶴ヶ島市立図書館まつり出展	鶴ヶ島市	鶴ヶ島市立中央図書館	浮世絵普及・地域貢献活動の一環として、鶴ヶ島市立図書館主催「第34回図書館まつり」（2024年10月26日～27日、会場：鶴ヶ島市立中央図書館）へ昨年に引き続き今年も出展した。展示コーナーでは、浮世絵複製版および浮世絵版画の制作に必要な道具・絵具類、そして複製版制作で使われた実物の版木のほか、水田記念図書館所蔵の浮世絵関連書籍も併せて展示し、浮世絵を知る機会に繋げた。また、昨年好評だった浮世絵版画の摺り体験コーナーでは、3回摺って金魚の図柄ができる歌川国芳の「金魚づくし 百ものがり」（部分）を体験いただいた。児童含む90名以上がこの摺り体験をし、日本の伝統木版技術の一端に触れるとともに、浮世絵の魅力をお楽しみいただいた。	90	0				
117	水田美術館	2024/11/25～ 2024/12/15	柳澤智美（現代政策学部教授）、紫村裕美	産学官連携、産学連携、官学連携;;授業(地域の学習・研究);;小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動;;展覧会	「第22回 MOA美術館 坂戸・鶴ヶ島市児童作品展」	坂戸市	文部科学省、外務省、農林水産省、環境省、こども家庭庁、埼玉県、埼玉県議会、埼玉県教育委員会、坂戸市、鶴ヶ島市、坂戸市教育委員会、鶴ヶ島市教育委員会、全国連合小学校長会、日本ユネスコ国内委員会、公益社団法人日本PIA全国協議会、公益財団法人海外日系人協会、公益社団法人全国子ども会連合会、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟、全国新聞社事業協議会、産経新聞社さいたま総局、埼玉新聞社、テレビ埼玉	「MOA美術館児童作品展」は、子どもたちが興味関心を持ったことをひとりひとりの感性で絵に表現していくことで、「思いやりの心」「豊かな心」を育てることを目的に1989年よりMOA美術館（静岡・熱海）が主催となって実施している児童作品展で、「坂戸・鶴ヶ島児童作品展」は、その全国展に先駆けて開催される地域展のひとつである。坂戸市および鶴ヶ島市内の小学生たちの絵画を展示する作品展で2002年より行っており、今年度は坂戸市8校、鶴ヶ島市5校から219点の応募があり、そのうち22点が入賞作品に選ばれた。本学現代政策学部 柳澤智美教授のゼミでは、2015年よりゼミ学生がボランティアとなってこの展覧会運営に参加し、子どもたちの創作活動への支援を地域ボランティアとともに取り組んでいる。今年度も引き続きボランティア活動に関わっていて、会期前日には入賞者表彰式を開催、その他、土日も開館するように対応し、学生ボランティアが表彰式運営スタッフ、土日來館者対応スタッフとして参加した。また、現代政策学部だけでなく、学部や学年の垣根を越えて、美術館活動や児童の創作活動支援に興味がある学生であれば誰でも参加できるよう開口を広げたボランティア募集を今年度より試みたが、興味を示す学生が出てくなど、今後の継続的な展覧会運営の可能性を感じる年でもあった。	815	0				

No.	所属	実施日	活動の代表者	活動の種別	活動・事業の名称	活動地域	連携自治体、団体等	連携概要	参加人数 (全体)	参加人数 (城西生)	この事業で想定される学び、成果	得られた学び、成果	良かった点	課題、改善点
118	水田美術館	2025/1/21～2025/1/22	紫村裕美	授業(学外で調査・活動)、授業(地域の学習・研究)、小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動	美術館職場体験学習	坂戸市	坂戸市立城山中学校	坂戸市立城山中学校との連携事業により、2025年1月21日～22日に職場体験学習を行った。職場体験学習では、中学校の取り組みの趣旨に沿って浮世絵への理解を深めていけるよう2016年度より行っており、途中2020～2023年度はコロナの影響で中断されていたが2024年度再開されたことで実施となった。今回は1年生1名が体験、美術館学芸員の仕事を中心に水田美術館での働く現場を肌で実感していただいた。	1	0				
119	水田美術館	2025/1/27	紫村裕美	授業(学外で調査・活動)、授業(地域の学習・研究)、小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動	美術館出張授業	坂戸市	坂戸市立城山中学校	坂戸市立城山中学校との連携事業により、2025年1月27日に出張授業を行った。出張授業は、アウトリーチ活動のうちの出張プログラムのひとつとして、2023年度より行っているもので、2024年度も引き続き、1年生から3年生の全学年の美術授業内にて実施した。今回の授業では、浮世絵を中心に所蔵品をアートカードにしてグループで行うゲームに挑戦、各学年とも活発に意見を交わし、楽しみながら熱心に取り組む姿が印象的であった。	70	0				
120	水田美術館	2025/2/1	水田美術館、日本版画会、日本版画会関東支部	公開講座等、地域へ向けた講座	展覧会関連イベント	坂戸市		展覧会「第65回記念 日本版画会入賞作品展+日本版画会関東支部作品展2024」の関連企画として、本展主催者の日本版画会と主管の日本版画会関東支部メンバーによるイベント「見て・触れて・聞いて 版画を楽しもう!」を2月1日(土)に開催した。本イベントは、第1部講演会「版画とは 複数芸術の楽しさ」、第2部美演会・体験会の2部構成で行われた。事前申込と当日参加した一般の来館者18名に加え、関東支部研修も兼ね会員28名も参加しての盛況な催しとなった。	46	0				
121	水田美術館	2025/2/13	紫村裕美	授業(地域の学習・研究)、小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動	地域交流学習事業 毛呂山町立光山小学校学習体験 (美術館)	毛呂山町	毛呂山町立光山小学校	地域連携センターおよび入試課連携のもと、2025年2月13日に行われた毛呂山町立光山小学校6年生の大学での学習体験に、2024年度に引き続き美術館も参加した。美術館学習では、浮世絵版画の摺り体験に加え、開催中の展覧会「日本版画会展入賞作品展+日本版画会関東支部2024」の鑑賞ワークにも取り掛かっていただいた。摺り体験では一人ひとり異なる仕上がりになり盛り上がる一方、鑑賞の時間ではじっくりと作品に向き合いながらそれぞれのお気に入りの作品を見つけるなど美術作品との向き合い方を楽しみながら学ぶ機会となった。	40	0				
122	水田美術館	2025/3/22	紫村裕美	産学官連携、産学連携、官学連携	「TJUPランド～こどもフェスタ～」内での美術館体験ワークショップ	東上線沿線地域	TJUP	本学が加盟しているTJUP(埼玉東上地域大学教育プラットフォーム)主催の「TJUPランド～こどもフェスタ～」(3月22日、会場：女子栄養大学)において、「わくわくワークショップ」カテゴリとして昨年度に続き参加。浮世絵版画の摺り体験を通じて伝統木版画を体験していただいた。図柄も昨年度の金魚から恐竜(イラスト風に仕上げたディプロドクス)に変更し実施した。興味関心をひきやすい恐竜ということもあり、体験した児童たちにとっても版画の楽しさを感じながら浮世絵版画を知る機会になったと思われる。	69	0				
123	地域連携センター	2014/5/17～継続中	渡辺 沙織	産学官連携、産学連携、官学連携	北坂戸にぎわいサロン	坂戸市	坂戸市、UR	北坂戸駅東口にあるURの1階で、週4日ラーニングコモンズ、すなわち学生と地域住民が一緒に学び会いながら、にぎわいを創造する。	100名以上	0			大学との交流事業の種類・回数ともにが昨年に比べて増加した。	
124	地域連携センター	2018/8/1～継続中	高尾 浩一	産学官連携、産学連携、官学連携、小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動、委員の委嘱、会議への参加、研究、公開講座等、地域へ向けた講座、地域イベントへの参加	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)	鶴ヶ島市など	坂戸市など23自治体、株式会社アールソフトなど17事業者等	地元で生まれ、地元で育ち、地元で生きていく若い世代への支援のビジョンのもと、埼玉県西部を中心に所在する20大学・短期大学、23自治体、13事業者等で形成されるプラットフォーム。「多様な高等教育」「生活しやすい地域づくり」「地域産業の活性化」を掲げ、自治体と地元企業とともに地域活性化を目指している。	1000	0				
125	地域連携センター	2023/4/1～2025/3/31	渡辺 沙織	委員の委嘱、会議への参加	坂戸よさこい実行委員会実行委員	坂戸市	坂戸よさこい実行委員会	「坂戸よさこい」の継続及び更なる発展のため、検討を行う委員会への委員での参加。	70	0				
126	地域連携センター	2024/2/18～2024/5/25	奈良博恵	産学官連携、産学連携、官学連携	「みんなのわこらぼまつり2024」企画運営メンバー	和光市	和光市	和光市民、和光市に興味関心がある方などから企画運営委員会を構成し、まつり全体のプロデュースを行う。	約5,000人	1	企画力、チームワーク力、リーダーシップ、調整力、創造力	当日の運営だけでなく、企画段階から運営委員として関わることで、同志を募り参加すること	2024年度は本学1名での参加だったが、2025年度は起業サークルとして、同志を募り参加することになった。	学内で募集を行ったが、参加者が少なかった。
127	地域連携センター	2024/4/7	奈良博恵	産学官連携、産学連携、官学連携	観光地域づくり ワークショップ	日高市	日高市	毎年9月に曼殊沙華で有名な巾着田(きんちゃくだ)および巾着田周辺を、1年通してにぎわいのある場所へと活用を進めるため、「第1回観光地域づくりワークショップ」を開催し、地域住民との意見交換の場としての企画。	24	1	コミュニケーション力、創造力、交渉力	現実とリンクする部分も多く、仮想のまちづくりを地域の方々としみ、各グループとの連携を持つことの重要性を学ぶ機会となった。	参加者が、中学生から80歳までと幅広い層だったが、仮想のまちづくりを皆で話し合う楽しい場となった。	自治体から依頼をいただいた時期が春休みだったが、仮想のまちづくりを皆で話し合う楽しい場となかった。
128	地域連携センター	2024/4/20～2024/4/21	渡辺沙織	産学官連携、産学連携、官学連携	北坂戸にぎわいサロン作品展	坂戸市	坂戸市、UR都市機構、東京電機大学	北坂戸にぎわいサロンで活動している、ものづくりのグループが制作した作品を展示し、成果発表を行う。また、同時に即売会を実施し、売り上げを今後の制作活動の一助としていただく。	140	6				
129	地域連携センター	2024/5/8～2024/5/9	奈良博恵	産学官連携、産学連携、官学連携	ひまわりの種まきイベント	川越市、坂戸市	認定NPO法人ほっとサポートでんとうむし	障害福祉サービスのNPO法人が、ひまわり油の石鹸を作るためのひまわりの栽培のため、種まきボランティアを募集。	30	0	地域の人との交流から社会貢献を学ぶ			
130	地域連携センター	2024/5/24	奈良博恵	小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動	毛呂山町光山小学校との連携事業(学校行事交流事業(運動会))	毛呂山町	毛呂山町	教職課程を履修している学生が、光山小学校の運動会の運営補助、児童との交流活動、児童の見守り、準備・片付けなどを通じて、現場経験を積む機会となる。	約200人	2	参加者は教職課程を履修している学生なので、教育現場で活動することにより、児童との貴重な経験を積み、学生自身の成長に繋がる。	参加者は教職課程を履修している学生なので、教育現場で活動することにより、児童との貴重な経験を積み、学生自身の成長に繋がる。	運動会日中で、とても盛況で事故もなく無事に終わった。	参加学生1名とメールや電話をしても折り返しがなかったが、学部等で確認をして体調不良ということが判明した。学生への連絡が困難である。運動会のテント組み立てがメインにならないよう、小学校側に伝えた。
131	地域連携センター	2024/5/24～2024/6/28	奈良博恵	産学官連携、産学連携、官学連携	社会人対象教育プログラム2024～空気圧・ファクトリーオートメーションセミナー	埼玉県	埼玉県	城西大学・東京電機大学ならびに空気圧制御機器トップメーカーであるSMC㈱から講師を迎え、空気圧と省エネ、省人化社会と協働ロボットを中心に空気圧トレーニングキットを使用した体験型学習をプラスして全6回講座を展開する。	15	0	空気圧他との構造を知ることができる。	受講者一人ひとりが実際に空気圧トレーニングキットに触れることで、シリンダの構造や速度制御に関する知識・理解をより深める等、空気圧実務経験の有無に関わらず、受講者が今後の実務に生かすための良い機会となった。	オンライン・体験型学習とともに受講者は真剣に受講しており、とても有意義なプログラムとなった。日刊工業新聞に同プログラムの記事が掲載された。	受講者より、内容を完璧に理解するためには、もう少し時間が必要かと思ったというコメントがあった。
132	地域連携センター	2024/5/29	奈良博恵	産学官連携、産学連携、官学連携	TJUPオンライン合同企業説明会	埼玉県	TJUP事業者等会員6社、TJUP自治体会員1社、埼玉県内のTJUP事業者等会員紹介20社	TJUP事業者等会員や会員が紹介する埼玉県内の優良企業をTJUP会員校学生へ紹介する。	90	4	TJUP会員校の埼玉県内での就職率向上			
133	地域連携センター機能別消防団	2024/6/3	渡辺 沙織	産学官連携、産学連携、官学連携	機能別消防団辞令交付式ならびにオリエンテーション	坂戸市	坂戸市消防団	坂戸市消防団主催で、大学生機能別団員新入団員を含む10名が参加し、新入団員への辞令交付式を実施したのち、大学生機能別団員の役割や、消防団員の服務などについての講習を受講した。	12	10	大学生機能別消防団員の概要を知ること、団員としての自覚を持つことができる。	大学生機能別消防団員の概要を知ること、団員としての自覚を持つことができる。また、消防士の業務の一部を動画を交えて知ることができた。	新入団員は団長から直々に辞令交付を受けることで、団員としての自覚を持つことができた。	参加人数が少なかったこと。
134	地域連携センター	2024/6/11～2024/6/12	奈良博恵	小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動	毛呂山町光山小学校との連携事業(学校行事交流事業(体力テスト))	毛呂山町	毛呂山町	ソフトボール投げ指導補助を通じて、生徒との貴重な経験を積むことができる機会となる。	約200人	13	想定外の課題発生への臨機対応、チームワーク力、知名度向上	光山小学校長よりのコメント「城西大学ソフトボール部の学生には臨機応変に対応していただき大変助かりました」	平日の午前には実施のため、授業に影響のない学生の動員が難しい。	
135	地域連携センター	2024/6/22～2026/3/31	千葉佳裕	地域との活動	坂戸、鶴ヶ島消防組合体力測定	坂戸市、鶴ヶ島市	坂戸、鶴ヶ島消防組合	坂戸、鶴ヶ島消防組合を対象に体力測定及びトレーニングの介入を実施	100	5	シニア世代の体力トレーニング	今後介入をして成果を次世代へと繋げていく		
136	地域連携センター・経営学部石井ゼミ、漢方研究会、企業研究会、書道サークルなど	2024/6/23	奈良 博恵	クラブ・サークル等の活動	西入間青年会議所主催「昭和99年レトロ祭り」	坂戸市	西入間青年会議所他	西入間青年会議所の6月例会の新企画として、地域活性化に資するイベント事業として坂戸駅北口のタイムズ駐車場を会場にお祭りを開催した。企画段階から大学生がかかわることにより、企画・運営等の実践経験が積めるほか、地域の若手経営者と一緒の事業を行うことで、仕事の進め方など身近な社会人から学ぶことができる。	5000	23	イベントの企画・運営を通じて、多機関の連絡調整や臨機応変力を養うことができる。	初開催で天候が不安定だったこともあり、多くの団体が臨機応変に対応するための貴重な経験の場となった。	多くの来場者で祭りが盛況であったこと。	多くの来場者の対応に今後工夫が必要な場面があった。

No.	所属	実施日	活動の代表者	活動の種別	活動・事業の名称	活動地域	連携自治体、団体等	連携概要	参加人数 (全体)	参加人数 (城西生)	この事業で想定される学び、成果	得られた学び、成果	良かった点	課題、改善点
137	地域連携センター	2024/7/7	渡辺 沙織	産学官連携、産学連携、官学連携	北坂戸にぎわいサロン10周年記念イベント	坂戸市	坂戸市、UR都市機構、東京電機大学	北坂戸にぎわいサロン開設10周年を記念して、城西大学、東京電機大学、坂戸市、UR都市機構が協力し「異文化交流とにぎわい再生」をテーマにイベントを開催した。城西大学からは、経営学部石倉先生とそのゼミ生にロコモ予防体操講座を、留学生に世界のあそびをたいけんしょうのコーナーの運営をしていただいた。まさに老若男女国籍問わず交流の機会が創出され、まさににぎわい創出を目的とするにぎわいサロンにふさわしいイベントとなった。	100	15	地元住民の方々との交流を通じ、日ごろの学習の成果を実践に生かす場として、成長することが期待できる。	普段接することが少ない年代の方々との交流が学生の成長につながったと考える。	多くの方々にイベントに参加していただいたこと。	
138	地域連携センター	2024/7/17	奈良 博恵	産学官連携、産学連携、官学連携、公開講座等、地域へ向けた講座	TJUP主催公開講座「魅力発見！埼玉〜埼玉東上地域の大学を知る〜」	坂戸市ほか22市町	19大学等、23自治体、17事業者等	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）で実施している公開講座で、今回は各会員校の魅力を伝えることをテーマに全9回で開催した。城西短期大学からは夢沼康子教授の「家族と子どもの行方」を7月17日に実施した。	33	0				
139	地域連携センター	2024/7/22〜2024/8/23	奈良 博恵	小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動	鶴つ子サマースクール×大学生WIN-WIN事業	鶴ヶ島市	鶴ヶ島市教育委員会	鶴ヶ島市の児童・生徒が学習意欲の向上や学習習慣の定着、「確かな学力」の育成を目指し、夏季休暇中の自主学習をする際に発生した疑問点や誤答を解消するため、大学生が学習指導補助員として鶴ヶ島市内小中学校で指導・支援を行う。大学生にとっては、児童生徒への指導を通じて、貴重な経験を積めるほか、教職課程を履修している学生にとっては、現場経験を積むことができるよい機会となる。	855	1	児童生徒への指導を通じて、貴重な経験を積めるほか、教職課程を履修している学生にとっては、現場経験を積むことができるよい機会となる。	学生自身が教育現場で学習指導補助員として疑問質問に答えたりすることで、自身の成長につながったり、将来像をより具体的に描くことができたらしいよい機会となった。	児童・生徒にとって夏休みの宿題や自主学習の疑問が年の近い大学生に気軽に質問し解消できる環境ができ、大学生は企業な現場体験を積むことができ、小学校中学校の教員にとっては働き方改革にもつながり、それぞれにおいてWIN-WINな事業であった。	試験期間と重複する機関が一部あり、次年度以降開催時期について微調整が必要である。
140	地域連携センター	2024/7/23〜2025/8/8	奈良博恵	産学官連携、産学連携、官学連携	第26期ひ・まわり探検隊	日高市	日高市	日高市内の小学生を対象に、「ふるさと新発見ひ・まわりスポット探し」での市内探検や、公民館サークル、企業、学校等が指導者となって実施する「体験教室」をとおして、郷土愛の醸成と地域の大人との交流の機会を作ることを目的とする。特別編として本学は坂戸キャンパス内にて実施した。「世界にひとつだけのうちわを作ろう!!」美術館、「わくわく!!何が出てくる?化石割り&ドキドキ!!何が隠れる?本版面摺り体験」美術館・化石ギャラリー、「みんなで楽しく1.動くスライムを作ろう!2.酵母によるパン生地発酵の仕組みを観察しよう!」化学科の3教室を実施した。	39	6	大学の特色を活かした体験教室を実施することで、地域の子どもの知的好奇心を刺激し興味と経験を育むと同時に、若い世代のうちから地域の大学を認識してもらう。	実験、工作や観察の講義を受けることにより、集中力とコミュニケーション力が向上したと推測する。		
141	地域連携センター	2024/7/23	奈良 博恵	産学官連携、産学連携、官学連携、委員の委嘱、会議への参加	第17回坂戸市・城西大学連携協力推進委員会	坂戸市	坂戸市	坂戸市と本学との連携協力のもと、互いに協働し、活力のある個性豊かな地域社会の形成・発展を目的に、1年に一回、昨年度の事業のフィードバック、見直し、当年度の計画などを相互に話し合う。	19	0	坂戸市と本学との相互理解を深める機会となる。	基本協定に基づく各種施策・事業が充実となる。個性豊かな地域社会づくりに繋がる。	本委員会を経て、よりスムーズな連携につながる議論ができた。	学長・副学長をはじめ、全員が揃った日程調整が難しい。次第に則った事務的な内容で、議論が乏しい。
142	地域連携センター	2024/7/24〜2024/9/16	森田 勇人	産学官連携、産学連携、官学連携	子ども大学にしているま	坂戸市、毛呂山町	明海大学、坂戸市、毛呂山町	明海大学、坂戸市・毛呂山町教育委員会と連携し、地域の子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供する。日本医療科学大学は前年度に続き講座実施のみ参加した。本学からは「超低温の世界」森田勇人先生（理学部教授）・阪田知巳先生（理学部教授）、「いい塩梅の化石講座」宮田真也先生（理学部助教）の2講座を実施した。	63	6	各大学の特色を活かした講義をすることで、地域の子どもの知的好奇心を刺激し興味と経験を育むと同時に、若い世代のうちから地域の大学を認識してもらう。	実験や観察の講義を受けることにより、集中力とコミュニケーション力が向上したと推測する。事業の特性柄、児童を「大学生」として接することで自立心を成長させる一助にもなったと推測する。		
143	地域連携センター	2024/7/26〜2024/9/9	奈良博恵	産学官連携、産学連携、官学連携	TJUPインターンシップ2024	埼玉県	TJUP事業者等会員3社、埼玉県内のTJUP事業者等会員紹介5社	TJUP事業者等会員と大学・短期大学会員が共同で会員校の在学生を対象とする「インターンシップ」を企画・実施する。学生に地元企業での就業体験の機会を提供し、会員校学生のキャリア意識を醸成する。職業と埼玉県内に事業所を持つ企業への理解を深めることで、実習先の職種・企業を進路の候補の選択肢のひとつとして検討してもらう機会を提供する。	27	7	TJUP会員校の埼玉県内での就職率向上			
144	地域連携センター	2024/7/27	奈良博恵	産学官連携、産学連携、官学連携	TJUPケア・トランポリン&電動車いす 体験講座	毛呂山町、鳩山町、鶴ヶ島市、坂戸市	毛呂山町、鳩山町、鶴ヶ島市、坂戸市	日本医療科学大学の教員、学生のファシリテートのもとで、TJUP会員校の学生が福祉機器等の使用方法について参加小学生に指導体験を行う。併せて介護予防運動について、学び実践する。		1	会員校学生間の交流を図ると共に、地域小学生との交流を通じて、社会性、コミュニケーション力を培う機会とする。			
145	地域連携センター 経営学部石井ゼミ、吹奏楽部、SHOELACE	2024/7/27	渡辺 沙織	授業(学外で調査・活動)、クラブ・サークル等の活動	北坂戸イーストフェス	坂戸市	芦山町町内会、けやき通り商業会	芦山町町内会とけやき通り商業会がタッグを組んだお祭り「北坂戸イーストフェス」が開催されました。城西大学が、北坂戸駅東口にある「北坂戸にぎわいサロン」を運営している縁で出演の声掛けをいただいた。城西大学経営学部石井ゼミのローカルヒーローショー、吹奏楽部、ダンスサークルSHOELACE（シューレース）がステージを披露した。	500名以上	67	学外に向けた活動のアウトプットの場となる。地域活性化の現場を体感・寄与することができる	学外に向けた発表の面白さ・充実感を感じることができたこと。	初ステージの学生も堂々としたステージングだったこと。猛暑の中でも体調不良者を出さずに参加できたこと。	
146	地域連携センター	2024/7/29〜2024/8/1	奈良博恵	小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動	城山中学校・若宮中学校合同吹奏楽部の練習施設提供	坂戸市	坂戸市	坂戸市との連携協力推進により、城山中学校・若宮中学校合同吹奏楽部の練習のため、城西大学への施設貸出依頼があった	65	0	城西大学への興味・関心の喚起、知名度向上	本学吹奏楽部部長と城山中学校顧問とコラボ演奏について打ち合わせを行った（実現には至っていないが今後に繋がる）。	城山中学校とコラボ演奏ができなかなど、本学吹奏楽部と交流が生まれた。城山中学校・若宮中学校合同吹奏楽部がコンクールで賞を獲った。本学で持っていない楽器を城山中学校より長期貸出ししてもらえた。「TJUP音楽を楽しもう」に同中学生が動員してくれた。	清光会館のエレベーター工事、学内の大規模工事の影響によるトラックや大型バスの入構等の調整が必要となった。
147	地域連携センター	2024/8/17〜2024/8/24	奈良博恵	産学官連携、産学連携、官学連携	日高市総合計画策定に向けて学生によるワークショップ	日高市	日高市	日高市では、今後のまちづくりの指針となる「第6次日高市総合計画後期基本計画」の策定に当たり、若者の意見を施策や事業等に反映するため、学生によるワークショップを実施し、本学学生が参加した。	18	5	考える力、発想力、コミュニケーション力、チームワーク力	市の施策や事業等に反映する一員に加わった。	自主的に参加したいと名乗りを上げたやる気のある学生が集まった。	夏休み期間で学生を募るのに苦労した。
148	地域連携センター 地域連携センター	2024/9/4〜2024/9/25	奈良 博恵	公開講座等、地域へ向けた講座	第43回城西大学公開講座「〜現代社会を健康で豊かに過ごそう〜」	埼玉県	後援：坂戸市・鶴ヶ島市・日高市・川越市・飯能市・東松山市・毛呂山町・越生町・鳩山町・川島町・東秩父村の各教育委員会、埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）、埼玉新聞社	本学の公開講座は、教育研究の成果を広く地域に開放し、高度化、多様化する地域住民の学習意欲と地域社会のニーズに応えることを目的とする。 2024年度は、4回にわたって以下のテーマで開催された。 ①9月4日（水） ミドリミシが健康をサポート！？ 〜ミドリミシが創る不思議な粒子「パラミロン」とは？〜 講演：五十嵐庸（薬学部医療栄養学科准教授） ②9月10日（火） 最近の消費者被害について 講演：川辺英一郎（経済学部経済学科教授） ③9月17日（火） シニア世代の年金・税金 講演：青柳龍司（現代政策学部社会経済システム学科教授） ④9月25日（水） 医療・健康・介護のデータとその利用 講演：横田治夫（理学部数学科特任教授）	申込者227 (延べ637) 9月4日：151、9月10日：158、9月17日：176、9月25日：152)	0	様々な専門性を持つ講演者により、多様性に富む学びを地域住民に深めることができた。	各回ごとにアンケートを実施しており、地域住民の生の声を講師は得ることができ、フィードバックにも繋がる。	多様性に富んだ講座を実施した。シニア世代の生活と密着した興味深い演題と重なり、227名の登録受講者を動員した。地域住民の生活にとって新型コロナウイルス流行が過去のものとなった事を示している。	学事暦、大学講義日程をふまえて9月開催に変更した所、参加者の一部の方より、暑いの苦情電話をいただいた。
149	地域連携センター	2024/9/12	奈良 博恵	産学官連携、産学連携、官学連携、公開講座等、地域へ向けた講座	TJUP主催公開講座「魅力発見！埼玉〜埼玉東上地域の大学を知る〜」	坂戸市ほか22市町	19大学等、23自治体、17事業者等	埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）で実施している公開講座で、今回は各会員校の魅力を伝えることをテーマに全9回で開催した。城西大学からは樊穎准教授の「平安時代の文学に見る中国文学の影響―平安時代の女性作家とその作品を中心に―」を9月12日に実施した。	40	0				
150	地域連携センター 機能別消防団	2024/9/24	渡辺 沙織	産学官連携、産学連携、官学連携	避難所運営研修会	坂戸市	坂戸市消防団女性部、鶴ヶ島市消防団女性部	大学生機能別消防団員および機能別消防団に興味のある見学者27名が参加し、坂戸市役所防災安全課の職員を講師に迎え、自分の住んでいる地域にどのような災害が起こるかを知っておく必要性、避難所が設置される際の機能別団員の役割について講演の後、避難所で使用するダンボールベッドとテントの組み立ての実習を行いました。実習は、見学の学生も一緒に参加した。	40	34	大規模災害時に最も想定される、大学生機能別消防団員の役割であり、避難所運営に関する知識を身につけることができる。	避難所運営に関する知識と実際に避難所で使用するベッド等の組み立てだけでなく、防災に関する講話を受講し、より災害を自分事としてとらえることができた。	前年度に参加した団員が組み立て方法等を覚えており、前回の研修が身についていることが確認できたこと。	
151	地域連携センター	2024/10/11	奈良博恵	産学官連携、産学連携、官学連携	TJUPオンラインディスカッション講座 “よいコミュニケーション” とは〜自己理解のためのはじめる一歩〜	埼玉県	坂戸市をはじめとする23TJUP会員自治体	会員校の学生同士が学年・大学を横断しワークやグループディスカッションを通じて共に学ぶことで、就職活動だけではなく在籍中からコミュニケーション力の向上を目指す。	25	7	講義・個人ワークとグループディスカッションを通してコミュニケーションを円滑にするコツを体感し、今後の学生生活、就活や社会に出た際に活かしていく状態を作れたと予測する。			
152	地域連携センター	2024/10/12	奈良 博恵	地域イベントへの参加	日本標準ふれあいまつり	日高市	株式会社日本標準	日高市に所在する、学校用教材などを出版発行している日本標準が主催する地域住民向けのイベント「日本標準ふれあいまつり」への城西大学の協力依頼があった。今回、城西大学としての出展は叶わなかったが、運営スタッフとして学生が参加した。	2500	2				

No.	所属	実施日	活動の代表者	活動の種別	活動・事業の名称	活動地域	連携自治体、団体等	連携概要	参加人数 (全体)	参加人数 (城西生)	この事業で想定される学び、成果	得られた学び、成果	良かった点	課題、改善点
153	地域連携センター	2024/10/19	奈良博恵	産学官連携、産学連携、官学連携;	TJUP音楽を通したコミュニケーション	川越市をはじめとする23自治体		音楽に合わせて他者と共に声を出したり楽器演奏をしたりすることで、非言語的なコミュニケーションの体験と言語化したり共有したりするプロセスも併せて体験することで、学生の表現力やコミュニケーション能力の拡大にアプローチする。	12	1	音楽療法を基盤として、音楽・楽器を通して心身を動かすことで一体感を体感し、表現力やコミュニケーション能力を向上させる効果を想定する。			
154	地域連携センター	2024/10/20	奈良博恵	産学官連携、産学連携、官学連携;	TJUP吉見町かけっこ教室（長距離編）	吉見町をはじめとする23自治体	吉見町	武蔵丘短大陸上競技部監督を講師とした小学生向けかけっこ教室の運営補助を通して地域の子どもたち、自治体職員、教職間の交流を深める。	16	1	会員校学生間の交流を図ると共に、地域小学生との交流を通じて、社会性、コミュニケーション力を培う機会とする。			
155	地域連携センター	2024/10/26	奈良博恵	産学官連携、産学連携、官学連携;	TJUP日本スリーデーマーチに向けた「東松山市クリーン活動」	東松山市	東松山市	TJUPの会員自治体である東松山市のクリーン活動を行いながら、参加者同士の交流を深め、学生にとっては今後の大学生活におけるネットワークの構築に繋がる機会とする。自治体を挙げて行われる国際的なイベントに向けた準備に参加することで、TJUPの活動を地域へPRするとともに会員自治体との更なる協力体制強化に繋げることを目的とする。	54	4	参加者同士の交流を深め、学生にとっては今後の大学生活におけるネットワークの構築にする。TJUPへの興味・関心の喚起、知名度向上。			
156	地域連携センター	2024/11/3	奈良 博恵	産学官連携、産学連携、官学連携;授業(学外で調査・活動);授業(地域の学習・研究);クラブ・サークル等の活動;;研究;;	2024地域連携活動発表会	埼玉県内、東京都千代田区、ほか		2023年度後期～2024年度前期の間に城西大学の学生が関わった、地域プロジェクト、イベント等への参加、ボランティア活動、商品開発等をポスターにまとめ、学生の学びの場や地域住民との交流の機会として開催した。発表会は11月3日（日・祝）とし、高麗祭と同時開催とした。パネル展示は10月21日（月）～11月30日（土）まで行った。	104名以上	30名以上	自身の活動を顧み、まとめ、発表することで貴重な学びのアウトプットの場となる。	想定される学びの内容のほか、様々な年代の地域の方々へ自身の活動をわかるように説明すること、また、普段も学内外の方々が足を止めてパネルを見ている姿が多く、展示期間を延長したこと。	23号館に入って目に付く場所が会場となったため、多くの人が足を止めて発表に耳を傾けてくれたこと、また、普段も学内外の方々が足を止めてパネルを見ている姿が多く、展示期間を延長したこと。	パネル展示期間を2年連続で延長しているため、次回はあらかじめ長めの展示期間の設定を検討する必要がある。
157	地域連携センター	2024/11/9	奈良博恵	産学官連携、産学連携、官学連携;	TJUP会員校対抗モルック競技大会	坂戸市ほか22市町	19大学等、23自治体、17事業者等	モルックを通してTJUP会員大学相互の学生間交流活動を図る。また、モルック協会指導者によるルールや実技を習得する。	29	4	学生間交流、モルックについてのルールの習得。	参加者同士の交流を深め、コミュニケーション力を培う。モルックの基本的なルールと楽しみ方、競技のこつなどを学んだ。	互いに他チームにも声援を送り合うなど、学生間交流が図られた。また、モルックの魅力を知ることができた。	短大生は昨年度のリピーターの学生が参加をしたが、モルックという日本ではまだ浸透していない競技なので、大学生については参加者を募るが難しかった。
158	地域連携センター	2024/11/17	奈良 博恵	地域イベントへの参加	こどもの笑顔Happyフェスタ	川口市	株式会社コマーム	株式会社コマームが主催するイベント「こどもの笑顔Happyフェスタ」（於：キュボ・ラ広場・川口駅東口）へ学生ボランティアとして学生が参加した。	不明	1				
159	地域連携センター	2024/12/1	高尾 浩一	小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動;;公開講座等、地域へ向けた講座;	TJUP教育支援文化講座「音楽を楽しもう2024」	坂戸市など23自治体		TJUP特定地域教育委員会との連携による教育支援企画講座として、TJUP特定地域域内の中学生を主対象に「音楽鑑賞」という学習機会を提供した。	159	0	芸術鑑賞の学習機会の提供とTJUPへの興味・関心の喚起、知名度向上		川越市立名細中学校吹奏楽部の成果発表の場にもなった。	中学生の参加者の増加
160	地域連携センター	2024/12/14	奈良博恵	産学官連携、産学連携、官学連携;	TJUP親子野球体験イベント	新座市をはじめとする23自治体	新座市	埼玉西武ライオンズが講師を務め、野球に関連した動作を親子で体験できるイベントの運営補助を通して地域の子どもたち、自治体職員、教職間の交流を深める。	75	2	会員校学生間の交流を図ると共に、地域小学生親子との交流を通じて、社会性、コミュニケーション力を培う機会とする。			
161	地域連携センター	2024/12/17	渡辺沙織	産学官連携、産学連携、官学連携;.....	北坂戸にぎわいサロン城西大学UR北坂戸団地「第7回北坂戸団地音楽ライブ」中継	坂戸市	UR都市機構	北坂戸にぎわいサロンの共同運営者である、UR都市機構主催で毎年恒例となっている音楽ライブを賑わいサロン城西大学を利用しYouTubeライブのバブリックビューイングを行った。	3	0				毎回、訪れる人が少なく、集客が課題。
162	地域連携センター機能別消防団	2024/12/23	渡辺 沙織	産学官連携、産学連携、官学連携;.....	機能別消防団普通救命講習	坂戸市	坂戸市消防団女性部、鶴ヶ島市消防団女性部	城西大学の機能別団員と剣道部員合計29名が参加し、倒れている人を発見した時の対応（意識確認、周りの人に助けを求めて119番通報やAEDを持ってきてもらうなど）や、胸骨圧迫、AEDの取り扱いについて坂戸市消防団女性部ならびに鶴ヶ島市消防団女性部の方々に教わった。	41	29	大学生機能別団員としてだけでなく、普段の生活で突然起こるAEDの使用方法や救命方法について正しい知識を身に付けることができる。	倒れている人を発見した時の対応や、胸骨圧迫、AEDの取り扱いについて実践を交え知識と技術を習得することができた。	最初から最後まで真剣に取り組んでいた。	
163	地域連携センター機能別消防団	2025/1/12	渡辺 沙織	産学官連携、産学連携、官学連携;.....	令和7年消防出初め式	坂戸市	坂戸・鶴ヶ島消防組合	坂戸・鶴ヶ島消防組合の令和7年消防出初め式に大学生機能別団員の学生18名が参加し、開会式で立派に行進、参列するかわら、ゆるキャラのサポートなどの業務を行うなど、運営スタッフとして活躍し、開会式終了後は、消防車の記念撮影の対応や、ゆるキャラとの写真撮影に関する対応などを担当した。	1,000名以上	18	多くの地域住民との交流を通じて、多世代との関わり方を学ぶことができる。	特に未就学児や小学生の対応を通じて、子どもの目線に立った対応を学び実践できた。	昨年より参加者数が増えたこと。	昨年より参加人数が増えたものの、在籍人数に対して、出席できた団員がまだ少なかったこと。
164	地域連携センター、男子駅伝部、女子駅伝部	2025/1/27	渡辺沙織	クラブ・サークル等の活動;....	北坂戸にぎわいサロン城西大学「城西大学男子駅伝部・女子駅伝部駅伝大会報告会」	坂戸市	坂戸市	城西大学の駅伝部を応援してくれる地域住民の方に、北坂戸にぎわいサロンを活用して選手やマネージャーが自分たちの声で地域の方々に応援に対する感謝の気持ちを伝える報告会を開催する。	30	6	人前で自己表現することで、今後の選手生活または社会生活でのふまめの訓練となることが期待できる。	上手な言葉を選んで発言することができ、さらに愛される駅伝部として魅力が伝わったと考える。	選手たちと参加者の距離が近いアットホームな会にできたことがよかった。	広報期間が短かったこともあり、昨年度より参加者数が少なかったこと。
165	地域連携センター	2025/2/13	奈良博恵	小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動;	毛呂山町光山小学校との連携事業（学習交流事業（科学実験体験及び浮世絵鑑り体験と美術鑑賞））	毛呂山町	毛呂山町	地域の学習交流事業として毛呂山町立光山小学校の6年生が城西大学を見学。理学部化学科と水田美術館での学びの体験プログラムに参加した。	44	3	地元の児童と交流することで、学生と教職員、地域がともに育ちあえる環境を目指すことができる。城西大学への興味・関心の喚起、知名度向上	コミュニケーション力、全体を見る力、チームワーク力、知的好奇心	本学へ41名（内特別支援学級3名）の児童が来学したが、事故もなく無事に終わった。学内では、化学科、美術館、入試課、地域連携センターの部署の連携で行った事業だが、当日スムーズに運営ができた。	当日部課長連絡会と重なり、管理職員の参加が難しかった。日時の設定等について次年度の課題である。
166	地域連携センター	2025/2/18	渡辺沙織	日本語学校との連携	北坂戸にぎわいサロン城西大学東亜国際外語学院学生によるイベント	坂戸市	東亜国際外語学院	北坂戸にぎわいサロンの近くにある日本語学校、東亜国際外語学院の長谷川洋介先生からの依頼で、学生が地域の方々と共に歌に関するインタビューを行う。今後の地域の方々との交流につながることを期待できる。また、学生にとってはリアルな日本語に触れる機会となり、今後のさらなる日本語能力の向上に寄与できる。	35	0		新規の近隣団体と連携できたこと		
167	地域連携センター	2025/2/25～2025/3/28	奈良博恵	産学官連携、産学連携、官学連携;	TJUP長期インターンシップ2024	埼玉県	TJUP事業者等会員1社、埼玉県内のTJUP事業者等会員紹介2社	TJUP事業者等会員と大学・短期大学会員が共同で会員校の在学生を対象とする「インターンシップ」を企画・実施する。学生に地元企業での就業体験の機会を提供し、会員校学生のキャリア意識を醸成する。職業と埼玉県内に事業所を持つ企業への理解を深めることで、実習先の職種・企業を進路の候補の選択肢のひとつとして検討してもらう機会を提供する。	4	1	TJUP会員校の埼玉県内での就職率向上			
168	地域連携センター	2025/3/8	渡辺沙織	小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動;....	北坂戸にぎわいサロン城西大学県立坂戸高等学校科学部によるイベント	坂戸市	県立坂戸高等学校、まなびしごとLAB	北坂戸にぎわいサロンの近くにある県立坂戸高等学校科学部の寺本英晃先生より、にぎわいサロンで地域の方々との交流事業実施の相談があった。科学部は、全国高等学校総合文化祭に出展し、化学部門で奨励賞を受賞するなど、輝かしい成績を修めている。今回、紫根を利用したハンカチ染めのワークショップを地域の方々向けに行った。	18	0		新規の近隣団体と連携できたこと	同日の違う時間に開催するイベントがあったため、急な参加者の受け入れが発生し、想定外の対応で時間どおりに開始することができず、少し駆け足での開催となってしまった。	
169	地域連携センター	2025/3/22	奈良 博恵	産学官連携、産学連携、官学連携;	TJUPわくわくランド2024	川越市、ふじみ野市など	川越市など23自治体	T1年間の活動を地域に向け報告する報告会を実施するにあたり、今年度は、TJUPビジョンに基づき、地元で生きていく若い世代（主にキッズ世代）向けに「楽しく、学ぶ、体験する」をテーマとしたキッズイベントを開催した。各大学の特色を活かした「わくわく教室」「わくわくワークショップ」「ファミリーコンサート」の開催と4委員会の2024年度の活動を動画にして放映した「TJUP報告会」を通して、地域の子どもへの学び支援およびTJUPの認知度アップを目的とした。全会員に参加を呼びかけ会員一丸となった学びの場提供を目指した。	376	6				
170	地域連携センター	2025/3/22	奈良博恵	産学官連携、産学連携、官学連携;	TJUP教育支援共催事業「ちはやふる～はじめての百人一首～」	和光市	和光市	百人一首の成り立ちを学ぶ講義と、学生による実演および体験を通して、より多くの小学生に百人一首に楽しく慣れ親しむ機会を目的とする。	31	0	百人一首について、初めて体験する小学生が親しむことができ、楽しく教養に触れられる機会となった。TJUPの知名度向上にも繋がれた。	活性化対象地域内の子どもたちの知的好奇心を刺激し、興味と経験を育む。	「百人一首の成り立ち」に関する解説を紙芝居形式にするなど、子供が飽きずに楽しめる工夫があった。	
171	化石ギャラリー	2024/6/6～2024/7/4	宮田真也	小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動;	第4学年図工	東京都千代田区	千代田区立九段小学校	九段小学校4学年を対象に、図工の教育の一環として化石ギャラリー見学および学芸員が小学校に赴いて化石削体験教室を行った（3クラス×2＝6日間）。	92	0				
172	化石ギャラリー	2024/10/26	宮田真也	小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動;産学官連携、産学連携、官学連携;	善通寺市小学校STEAMプログラム	香川県善通寺市	善通寺市、丸善雄松堂株式会社、AFK研究所合同会社など	化石ロボットで学ぶSTEAMプログラム10月26日の回で琥珀の発掘体験の行使を行ったhttps://www.city.zentsuji.kagawa.jp/site/kouhouzentuuji/today-20241026.html		0				
173	化石ギャラリー	2025/1/11～2025/1/12	宮田真也	研究;	第4回国際シーラカンスシンポジウム	関東	アクアマリンふくしま（ふくしま海洋科学館）	第4回国際シーラカンスシンポジウムの共催者として協力を行ったシンポジウムは研究者だけでなく一般の方々にも公開された。		0				
174	化石ギャラリー	2025/2/15	宮田真也	小・中・高校との連携、小・中・高校へ向けた活動;	港区立青南小学校 公開授業	東京都港区	港区立西南小学校	港区立西南小学校にて公開授業「私たちがモサカナ？！ー生きている化石シーラカンスのお話ー」の講義を行った。		0				

No.	所属	実施日	活動の代表者	活動の種別	活動・事業の名称	活動地域	連携自治体、団体等	連携概要	参加人数 (全体)	参加人数 (城西生)	この事業で想定される学び、成果	得られた学び、成果	良かった点	課題、改善点
175	陸上競技部 総合型 地域スポーツクラブ JAWS、城西大学陸上 競技部、経営学部千 葉ゼミナール	2021/10/16	代表理事：千葉 佳裕 クラブマ ネージャー：小 村逸	産学官連携、産学連携、官学 連携、授業(地域の学習・研 究):クラブ・サークル等の活動: 小・中・高校との連携、小・中・ 高校へ向けた活動:委員の委 嘱、会議への参加、公開講座 等、地域へ向けた講座:	JAWSかけっこクラブ	坂戸市、毛呂山 町、鶴ヶ島市、 日高市、川越市 等城西大学近隣 地域	坂戸市、毛呂山 町、鶴ヶ島市、日 高市、川越市等城 西大学近隣地域	総合型地域スポーツクラブJAWSは大学と連携したスポーツクラブとして、地域へどのように貢献できるかを目的に事業を展開してきました。今回は陸上競技(かけっこ)の種目を主として展開し、城西大学陸上競技部コーチおよび現役学生アスリート・OBからの指導、専門的機関の分析研究、全天候型トラックや専門的トレーニング器具の使用、スポーツに関連した各種講習会など大学ならではの資源を活用した活動を行ないました。定期スポーツクラブの開催から、近隣地域での陸上教室・運動講習会、走動作分析会、医療栄養学科と連携した「栄養講習会」、株式会社西ヤクルト販売株式会社と連携した「おなか元気教室」等の様々な活動を行いました。参加者および参加された方の保護者からアンケートを募ったところ、非常に多くの好意的な意見を集めることができました。今後も同理念のもと継続的に活動及び事業展開を行なっていきます。	50	8	スポーツマネジメント、スポーツ コーチング、地域PBL	スポーツマネジメント、スポーツ コーチング、地域PBL	JAWSを通して学生が地域の方と交 流し、自分の耳で地域の声を聞 き、それに対してどのように貢献 できるのかを考えて行動しながら 学ぶことができた。	これまで様々な活動を行なってき たが、参加している学生は多くな く継続的に事業を展開できるかが 不透明である。また、活動資金等 についても安定的な確保がないた め、今後調整をしていく必要があ る。
176	書道サークル	2024/5/16～ 2024/12/12	梅原絃汰 LS22033	クラブ・サークル等の活動:小・ 中・高校との連携、小・中・高校 へ向けた活動:	光山小学校への授業サポート(書 写・書き初め)	毛呂山町	光山小学校	光山小学校から依頼があり、書写と書き初めの授業のサポートを 行った。		6	こうしたら良くなるというようない アドバイスをすることで人に話し かける力やコミュニケーション力 が身につく。	どのようにアドバイスをしたら良 いのかを考えてそれを行動に移す ことで、思考力やコミュニケー ション力が付く。	参加をするといった人が遅刻や欠 席をすることなく実施することが 出来たこと。	参加できる人が参加するという形 なのだが、行った人によりアドバ イスなどの出来ることが限られて いて小学校に対しての貢献度がバ ラバラだったということと人はい てもサークルにいるメンバーが話 しかけられない人ばかりだから 思ったことがあっても話しかける ことが出来なかったという点。
177	書道サークル	2024/6/23	梅原絃汰 LS22033	クラブ・サークル等の活動:小・ 中・高校との連携、小・中・高校 へ向けた活動:	昭和99年レトロ祭り	坂戸市	西入間青年会議所	祭り参加者にキーホルダーやうちわ、扇子を購入して貰い書道を体 験して貰う。	5000	9	学内や学校に提携した施設でのイ ベントは行ってきたが、学校外 でのイベントが初めてになるの で、学校で行なうときは異なる 気づきや発見が得られると考えま す。	得られたこととしては屋外で行な うイベントが初めてだったのです が、屋外でも書道が行えるという ことに気付くことができたのと来 場された方はあくまで祭りとして 参加されていたので、行ないやす い価格設定や興味を持って貰うた めの宣伝の仕方など訪れる人のこ とを考えたやり方をしなければなら なかったので、新たな視点を持つ という意味では学びになったかと 考えます。	ブースに来てくれた方の人数はそ こまで多くなかったが来てくれた 人が楽しんでくれたところ。	元々の担当時間を決めていたが、 来場される人数が多かったのとメ ンバーが多少自由に他のブースに 行ってしまったことがあり決めた とおりにいかなかったという所と 書道だとかなりの時間をかけて書 いて貰う必要があり、かなりの人 が来る時間だと待って貰う時間が 出来てしまったという点。
178	書道サークル	2024/10/21～ 2024/11/8	梅原絃汰 LS22033	クラブ・サークル等の活動:小・ 中・高校との連携、小・中・高校 へ向けた活動:	高麗祭	埼玉県	城西大学水田美術 館	美術館での作品の展示と当日の作品解説、書道ブースでの書道体験		9	作品の解説やアドバイスなどをす ることで、説明する力が付くのと イベントをするにあたり企画力が 付く。	イベントをする中での事前準備の 大切さを学んだ。	シフトを作り担当時間を決め当日 は活動を行なったが、大きなトラ ブル無く活動を終えられたこと。	作品の解説をするにあたり必要な 情報を調べるということ全体で 行なわず当日を迎えたため、説明 が出来ず、ただその場にいるだけ の時があったということと内気な 人が多く聞かれたことに対しての 返答があまり出来ていなかったの で当日までの準備は多くの時間を 割いて行なう必要があったと感じ た。また、教室で書道体験を行 なったがその準備の際に意見があ まり出ず特定の人だけが準備を行 ない、低学年の人とただ参加し ているだけになっていたので目標 を持ちその目標に向けての活動と いった共通した意識を持つという ことが大事だと感じました。
179	書道サークル	2024/12/27	梅原絃汰 LS22033	クラブ・サークル等の活動:小・ 中・高校との連携、小・中・高校 へ向けた活動:	延命寺での書き初め指導	毛呂山町	延命寺・光山小学 校	書道授業のサポートに行っている光山小学校の小学生を延命寺に呼 び、冬休みの宿題や書き初めを見て教えるというもの。	30	7	地域の方との交流と指導やアドバ イスをする事で元々なかった新 たな視点が付く。	小学校を訪れ似たようなことに取 り組んだ際にはサークルの人数が 少なく特定の人ばかりを見てしま うと言うこともあったが、人数が 多くいたことにより指導やアドバ イスを出来ない子がいなかったこ とにより人数が多ければ分担をす ればやりやすいと言うことに気付 いた。	サークルのメンバーがある程度そ ろっていたことにより役割分担が 出来、効率よくアドバイスを出来 た。	指導やアドバイス、そもそもの書 道の能力が異なると言うことに よりアドバイスが出来る人と出来 ない人が謙虚に異なっていたため 全員が同じくらいには指導やアド バイスを行えるようにならない ければ行けないと感じた。
180	書道サークル	2025/3/8	渡辺沙織(地域 連携センター代 理記入)	;;;クラブ・サークル等の活動;;;	北坂戸にぎわいサロン城西大学 大学生企画イベント「世界でひと つだけのオリジナルグッズを作ろ う」	坂戸市		北坂戸駅周辺のにぎわい創出を目的とした、北坂戸にぎわいサロン を活用して5年ぶりの学生企画イベント開催。午前の部7名、午後の 部13名の計20名、子どもから大人まで幅広い年代の方々にご参加 いただき、キャンパス地のポーチに墨と筆を使って好きな文字などを 書き、世界で一つだけのポーチを制作した。	18	5	様々な年代の方々への対応を通じ て、一人ひとりに応じたアドバ イス方法を身につけることができ る。	一人ひとりの参加者が作りたい作 品像によりそってきめ細やかにア ドバイスができたこと。	参加者の皆さんが楽しんで参加し ていたこと。出来上がりの作品に 満足していただいたこと。	
181	書道サークル	2025/3/8	梅原絃汰 LS22033	クラブ・サークル等の活動:	北坂戸にぎわいサロン城西大学 書道サークル ワークショップ	坂戸市	地域連携センター	書道を通じ、地域の方との交流の機会を設ける。また、地域の方に 楽しんでいただくことで社会貢献にも繋がると考えます。	19	5	学外の方と交流することにより、 コミュニケーション能力や主体性 が身に付く。	想定される学びで記載した通りの コミュニケーション能力や主体性 などが身に付いたのではないかと 考えます。	昨年に行った際は今年より多くの 学生が参加していたが、その分役 割分担が出来ていなかったの で、少人数になったことで誰がど こを担当するかといった役割分 担が出来たと感じた。	昨年も同じだったと思いますが、 イベントを行なうまででイベン トの時間や使用する物までしか直 接の話し合いが出来ておらず、活 動の詳細(中身)の話し合いがあ まり出来ずに当日を迎えてしま っていたので話し合いの場を設け 当日を迎えることが出来たらよ りスムーズに当日動くことが出来 たと思うので、話し合いの時間を 長く持たなければならぬと感じ ました。
182	漢方研究会	2024/9/18	渡辺沙織(地域 連携センター代 理記入)	;;;クラブ・サークル等の活動;;;	北坂戸にぎわいサロン城西大学 大学生企画イベント「アロマキャ ンドル製作体験」	坂戸市	坂戸市	北坂戸駅周辺のにぎわい創出を目的とした、北坂戸にぎわいサロン を活用した学生企画イベントを開催。22名の地域の方々にご参加 いただき、思い思いのアロマキャンドルを製作した。	26	4	様々な年代の方々への対応を通じ て、一人ひとりに応じたアドバ イスやコミュニケーションの取り 方を身につけることができる。	一人ひとりの参加者が作りたい作 品像によりそってきめ細やかにア ドバイスができたこと。	参加者の皆さんが楽しんで参加し ていたこと。出来上がりの作品に 満足していただいたこと。	暑い季節での開催だったため、蠟 を入れる作業を担当する学生が大 変だったこと、材料の配布をする ときに不公平感がないような工夫 が必要と思われた。
183	城西マネジメント研 究会	2024/12/8	渡辺 沙織(代 理入力)	;;;クラブ・サークル等の活動;;;	北坂戸団地商店会「光と音楽の祭 典」	坂戸市	北坂戸団地商店会 、北坂戸団地自治 会、UR都市機構、 東京電機大学	北坂戸団地商店会でのクリスマスイベント「光と音楽の祭典」に東京 電機大学から出店の声掛けがあり、JMSキッチンがゆずドリンクと 菜の花米の販売を行った。	150	2				